

令和6年上尾市教育委員会第3回臨時会 会議録

- 1 日 時 令和6年8月6日（火曜日）
開会 午前9時30分
閉会 午後2時54分
- 2 場 所 上尾市役所 7階教育委員室
- 3 出席委員 教育長 西倉剛
教育長職務代理者 大塚崇行
委員 内田みどり
委員 小池智司
委員 谷島大
委員 矢野誠二
- 4 出席職員 学校教育部長 瀧澤誠
学校教育部副参事 兼 指導課長 兼 教育センター所長 武田直美
教育総務部 教育総務課長 杉木直也
中学校教科用図書選定資料作成委員会委員長 増田司
国語教科用図書調査研究専門部会長 加藤俊一
社会教科用図書調査研究専門部会長 萩谷健
数学教科用図書調査研究専門部会長 山本幸年
理科教科用図書調査研究専門部会長 廣美穂
音楽教科用図書調査研究専門部会長 大木まみこ
美術教科用図書調査研究専門部会長 興野邦孝
保健体育教科用図書調査研究専門部会長 根本和彦
技術・家庭教科用図書調査研究専門部会長 須田治茂
外国語教科用図書調査研究専門部会長 山田正浩
道徳教科用図書調査研究専門部会長 中島晴美
学校教育部 指導課副主幹 濁川究
書記 教育総務課主査 田中輝夫
- 5 傍聴人 18人

6 日程及び審議結果

日程第 1 開会の宣告

日程第 2 会議録署名委員の指名

日程第 3 協議

協議 1 令和 7 年度使用中学校教科用図書の採択について

日程第 4 議案の審議

議案第 5 2 号 令和 7 年度使用中学校教科用図書の採択について

日程第 5 閉会の宣告

7 会議録

日程第1 開会の宣告

(西倉剛 教育長) ただ今から、令和6年上尾市教育委員会第3回臨時会を開会いたします。本日は、傍聴の申出はございますか。

(杉木直也 教育総務課長) 18人の方から傍聴の申出がございます。教育長の許可をお願いいたします。

(西倉剛 教育長) 傍聴を許可いたします。ご案内をお願いします。

～傍聴人入場～

(西倉剛 教育長) 傍聴者の皆様へ申し上げます。傍聴に当たっての注意事項を傍聴券の裏面に記載しておりますので、お読みいただき、会議の進行にご協力いただきますようお願い申し上げます。

本臨時会は、令和7年度使用の中学校の教科用図書の採択について、協議及び議案の審議を行います。最初に本日の日程につきましてご案内申し上げます。本日の「日程第3 協議」は、令和7年度に使用する中学校の教科用図書10教科について協議を行いますが、長時間に及ぶため、午前と午後に分けて行いたいと存じます。

具体的には、午前は「日程第3 協議」のうち、国語、社会、数学、理科、音楽、美術について、各専門部会からの調査研究事項の説明及び質疑をそれぞれ教科ごとに行います。午前はここで一旦終了し、昼休憩後、午後1時10分から協議を再開します。

午後は、残りの教科である、保健体育、技術・家庭、外国語、道徳について同様に進め、全ての教科の説明及び質疑が終了後、教科書選定の投票を行い、集計の後、結果を報告し、協議を終了します。協議終了後、議案の準備のために、暫時休憩を取り、その後、「日程第4 議案の審議」、「日程第5 閉会の宣告」と進めてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

なお、上尾市立小・中学校使用教科用図書の採択に関する規則に基づき、増田中学校教科用図書選定資料作成委員会委員長及び各教科の教科用図書調査研究専門部会長に出席を求めていますので、申し添えます。それでは、日程に従いまして、会議を進めます。

日程第2 会議録署名委員の指名

(西倉剛 教育長) 続きまして、「日程第2 会議録署名委員の指名」を行います。本臨時会の会議録署名委員は、谷島委員をお願いいたします。よろしくお願い申し上げます。

(谷島大 委員) はい。

日程第3 協議

(西倉剛 教育長) 続きまして、「日程第3 協議」でございます。教育委員の皆様には、資料作成委員会が作成した選定資料、専門部会調査研究資料、各中学校からの調査研究資料、各中学校からの保護者アンケート、教科書展示アンケート、埼玉県教育委員会調査資料、中学校用教科書目録などを配

布し、これらを基に研究を進めていただいたことと存じます。本日これより、教科の専門部会ごとに調査研究事項の説明をしていただき、慎重審議の上、採択を行いたいと考えておりますので、よろしくお願い申し上げます。それでは、協議の説明をお願いします。

（瀧澤誠 学校教育部長） 中学校教科用図書の採択につきましては、文部科学省「中学校用教科書目録」の中から、教科用図書を選定し、採択いただくことになっております。本日は、すでに配布させていただきました各資料から、資料作成委員会の検討結果をご報告申し上げます。

（西倉剛 教育長） それでは、上尾市立小・中学校使用教科用図書の採択に関する規則第5条第5項の規定により、増田委員長より、令和7年度使用中学校教科用図書の採択について、調査検討事項の説明をお願いします。

（増田司 中学校教科用図書選定資料作成委員会委員長） それでは、ただ今から、中学校教科用図書の採択に係る選定資料について、ご説明いたします。資料作成の過程でございますが、校長、教頭又は主幹教諭1名、専門的知識を有する教員2名から5名により専門部会を組織し、全ての教科書発行者の教科用図書について調査研究し、その結果を資料作成委員会において報告していただきました。その報告や、学校の調査研究結果、教科用図書展示会におけるアンケート等も参考にしながら作成した選定資料をもとに、各専門部会長から説明申し上げます。

（西倉剛 教育長） それでは、各専門部会長から調査研究事項の説明をいただきます。まず、「国語」、「書写」の説明をお願いします。

（加藤俊一 国語教科用図書調査研究専門部会長） 国語につきましては、4者が発行しております。これらを研究しました結果を報告いたします。

東京書籍株式会社は、学習指導要領に則して、多彩な言語活動による「読む」から「話す・聞く」「書く」へ、「言葉の力」がつながるよう単元が構成されています。知識及び技能が習得できるように、各教材に「言葉の力」として、発達段階に応じた言語事項の指導内容が明記されています。文法の学習では、活用表や助詞、助動詞一覧表がとても充実しています。思考力、判断力、表現力等を育成するために、「てびき」により、振り返りまでの活動が順序立てて説明されているページがあり、学習の目標や流れの見通しが持てる工夫があります。「場面と描写」「意見と根拠」など、文章教材において、特にポイントとなる指導事項について詳しく説明したページがあります。

株式会社三省堂は、学習指導要領に則して、学習の系統化を図り、基礎・基本を段階的に習得できるよう単元が構成されています。知識及び技能が習得できるように、単元末に「漢字クイズ」が掲載され、興味関心をひくページがあり、「語彙を豊かに」ではさまざまな表現の仕方を紹介しています。百人一首や日本文学名作集など巻末ページが充実しており、多様な作品に触れられる特徴があります。思考力、判断力、表現力等を育成するために、「学びの道しるべ」という学習の進め方、振り返りまでの活動が順序立てて説明されており、生徒が見通しをもって学習に取り組める工夫があります。「思考の方法」では考え方の手順を学び、論理的考察のヒントになっています。

教育出版株式会社は、学習指導要領に則して、螺旋的・反復的に繰り返して指導できるように系統的な学習を強調した単元構成をしています。知識及び技能が習得できるようにするために、読み物教材の「学びナビ」では既習事項を振り返り、次の単元で身に付けたい知識や技能についてのガイドが丁寧であり、本編の内容をスムーズに学習できるようになっています。思考力、判断力、表現力等を

育成するために、各教材に「みちしるべ」「学びナビ」の学習のプロセスに則した手引きがあり、学びへの明確な視点をもって主体的に学習できる工夫があります。「言葉の地図」には、SDGsとの関連が取り上げられ、学年で学ぶ内容と身に付けたい言葉の力がまとめられています。

光村図書出版株式会社は、学習指導要領に則して、説明・論説等の文種を示して複数の領域で単元が構成され、語彙力を身に付けるための「語彙ブック」が収録されています。全領域で主体的な学びに繋がるように、「学びへの扉」で学習の流れを明確にし、「見通しをもつ」「実行する・試行錯誤する」「振り返る」という構成が特徴です。知識及び技能が習得できるように、「言葉」「漢字」「文法」の単元が整理されて学習しやすく、文法の決まりの説明や二次元コードの練習問題が充実しています。思考力、判断力、表現力等を育成するために、単元ごとの学習のポイントを「学びのカギ」でつかみ、「言の葉ポケット」で語彙を増やしながら学びを深められる工夫があります。

これで、国語の報告を終わります。

国語（書写）につきましては、4者が発行しております。これらを研究しました結果を報告いたします。

東京書籍株式会社は、学習指導要領の目標を受け、知識及び技能が習得できるようにするために、各教材に「目標」が提示され、「見つけよう」「確かめよう」「生かそう」の三段階で学習事項を確認できます。思考力、判断力、表現力等を育成するために、「身の回りの文字の目的と工夫」のページでは、書体や色、配列、筆記具など、目的に応じた表現を学習することができ、日常に落とし込み、考えさせるような構成になっています。主体的に学習に取り組むために、「学習の進め方」で学ぶことを見つけ、実際に書いて確かめ、学んだことを生かせるような工夫があります。

株式会社三省堂は、学習指導要領の目標を受け、知識及び技能が習得できるようにするために、単元の「目標」が提示され、「書き方を学ぼう」では、書くポイントが明確化され、ページ内で振り返りができる構造になっています。思考力、判断力、表現力等を育成するために、目的や必要に応じて書体を選択して書くことや、効果的に文字を書くことの必要性等を考えさせる構成となっています。主体的に学習に取り組むために、解説動画を確認し、理解を深めながら、学んだことを生活の中で生かすことを目標にして主体的に学習に取り組むことができる工夫があります。

教育出版株式会社は、学習指導要領の目標を受け、知識及び技能が習得できるようにするために、毛筆のお手本が大きめに用意され、筆順や筆脈、文字の構造などを確認しながら、練習できます。思考力、判断力、表現力等を育成するために、「学習活動や日常生活に生かして書こう」では、書体や筆記用具、注意点等を話し合い、硬筆と絡めて「ノートの取り方」が紹介され、場面に応じた書き方を学習できる構成になっています。主体的に学習に取り組むために、「学習の進め方」で、目標を確認し、課題を見つけ、自己評価しながら、学習を振り返る工夫があります。

光村図書出版株式会社は、学習指導要領の目標を受け、知識及び技能が習得できるようにするために、別冊の「書写ブック」を用いて、教科書で学習した内容を基に硬筆の練習ができ、繰り返すことで技能を習得できます。思考力、判断力、表現力等を育成するために、課題について考え、実際に書いて確かめ、学習したことを生かす構成となっています。主体的に学習に取り組むために、映像教材と各ページにある「目標」、「学びのカギ」、「考えよう」、「確かめよう」、「生かそう」など生徒が教科書にそって、目標から応用まで取り組みの流れを理解しやすい工夫があります。

これで、国語（書写）の報告を終わります。

（西倉剛 教育長）調査研究事項について、説明いただきました。ただいま説明につきまして、質疑・意見はございますか。

(内田みどり 委員) 国語の教科書は以前に比べて、カラーの写真やイラストなどで興味を引くような内容がすごく増えてるように思いました。また、どちらかというと長文が減って、説明する部分が増えているようなところも感じましたが、その違いはありますか。

(加藤俊一 国語教科用図書調査研究専門部会長) 実際にこれからの子どもたちの育成する力として、論理的思考力が非常に国語科としても課題であるということは認識を受けておりますので、もしかしたらそのようなところが丁寧になっているのかなというところですが、今までの流れを見てもそれほど大きくは変わっていないというように専門部会の方では受け止めております。

(内田みどり 委員) その中で、デジタル化の中でいろいろな文章や表現を学ぶにあたって、書くことが心配されるところがあります。実際にタブレットを使って入力するということはありますが、それでは変換が簡単にできてしまいます。国語を使って書くことや語彙力を上げることというようなことは、どのように考えていくかということについてお聞かせください。

(加藤俊一 国語教科用図書調査研究専門部会長) 全ての発行者とも、書くことについても単元を設けて、例えば文章に即して、次の文章に書くことを自分で意見をまとめるとか、そのようなところもしっかりと手引きとしても出ております。それに則って、先生方も授業をやっているということと、実際に丁寧に字を書くということであれば、書写や硬筆の授業等でも教科書にも載っていますので、学校としても時間を確保して書くことがおざなりにならないよう、書くこともしっかり学べるように授業等をやっていくというように私も認識しております。

(内田みどり 委員) 続けて、書写についてですが、書写のカリキュラムがどのぐらいの割合なのかかわからないので、まずおよそ年間で何時間ぐらいの授業があって、また書写の採点や評価はどのように行っているのでしょうか。

(加藤俊一 国語教科用図書調査研究専門部会長) 全体の中の割合としては大きく取れないところがございますが、硬筆の時間や2学期には書き初めのための書写の時間が設けられております。その中で、まずは主体的に、課題を持って自分でまず取り組んでいくことや、上手いとか下手とかということもあるかもしれませんが、子どもたちが自分でどこに課題があって、それにどのように取り組んでいくのかというその過程を大事にしてしていくことがまず大きなところかと思えます。あとは、硬筆展覧会や書き初め展覧会というところで専門家の方が評価する場面もございます。

評価としては、まずは一生懸命取り組んでるかということと、技能をどれだけ身に付けたかということで、例えば10枚完成作品を出していくうちに、どれだけ伸びているか、どれだけ課題を認識して練習してきたかということとやっているとします。

(大塚崇行 教育長職務代理者) 内田委員がおっしゃった最初の質問に続くかもしれませんが、先日の新聞で全国学力テストの発表があり、国語の読む力が落ちているということが取り上げられておりました。これは中学校の教育において大変大きな問題ではないかと感じたところでもあります。まずは読む力をつけるものとして、各発行者の特徴などについて話し合われたことはございますか。

(加藤俊一 国語教科用図書調査研究専門部会長) 読むことについて、ネットの時代にあって、文章離れといえますか、じっくりと読むという時間は課題であるということは専門部会の中でも出ており

ました。その中で、読書に親しむために、中学生がどのような本を今読んでいるか、こういった本を読むとどのような考え方が生まれるかというものが、どの発行者とも充実しておりますので、これはすぐ使えますねという話もありました。また、例えば、本校では、朝の読書の時間がございますので、国語の時間と併せてこの朝の読書の時間でも読むことについて、深めなければいけないということは課題とっております。

(大塚崇行 教育長職務代理者) 各発行者の特徴として本を進めているところで、先ほど教科書の中には長文のものが少なくなり、それを補う他の本も必要になりますが、それが今はパソコンやタブレット等にもなっていて、それを利用することが多く、実際の紙を手にするのが少なくなっていることで、このような本を勧めるということは良いのですが、ただ勧めるだけでは、子どもたちは本を手にしなかなというように思いますので、その先のこととして、例えばビブリオバトルなどもありますように、教科書の中には私のベストブックというものもありましたが、子どもたちから発するものを作っていくと、本を読まないのではないかなというように思いました。それぞれ各発行者の特徴があると思いますが、使い方によってその先ができるのかできないのかということを感じております。

続いて、書写についてですが、発行者によって情報量が違うというように思いました。ある発行者は120ページの構成で、ある発行者は165ページの構成でした。この差は大きいように感じますが、この点について話し合われたことはございますか。

(加藤俊一 国語教科用図書調査研究専門部会長) 字の大きさや、付随したおまけのようなところを丁寧にされてる発行者もあるかと思えます。また、毛筆や筆順、色の濃さなどは各発行者とも細かく解説しております。また、各発行者とも二次元コードがついておりますので、そこから、書き方の手順などを見ることもでき、硬筆と毛筆とも、今のデジタルの時代にあって充実しています。

ページ数の差で大きかったのは、付随した説明が丁寧であったというところがあると思えます。

(西倉剛 教育長) それぞれの発行者によって若干扱いが違っていると思ったのは古典の扱いです。この古典の扱いの特徴として、専門部会でどこがこうというような具体的なところまででなくとも、どのような議論があったのかということについて教えていただけますか。

(加藤俊一 国語教科用図書調査研究専門部会長) 古典につきましては、古典文学離れと言いますが、難しい部分もありますが、どの発行者も古典を親しむように、まずは中学1年生で取り扱うのに一番多い竹取物語のような身近な教材から文学を親しむという形で、それから歴史の重んじてる古典といった取扱いは丁寧にされていると思えます。ただ割合でいきますと、その最初の導入部分を重視している発行者と、その導入からさらに発展させて高度な部分を紹介されている発行者も確かにあるというところでは、導入の部分については、どこも丁寧であったと思えます。

(西倉剛 教育長) 続いて、書写についてですが、教科書そのものに書き込む部分が多いと思うものと、そうでないものがあります。国語の専門的な見地からすると、その扱いはどのように見ているのかについてお聞きします。

(加藤俊一 国語教科用図書調査研究専門部会長) 先生によってやり方があると思いますが、実際に書いて練習することがとても大事なことなので、教科書に直接書き込めるようなものはワークのよう

に、個人でもどんどん練習できるというような形で使えますねという話しは出ていました。また、プリントや用紙を用意してそれで提出することもあります。それ以上にやりたいという時にはワーク的な扱いでできるという話は出ておりました。

(大塚崇行 教育長職務代理者) 先ほど、タブレット上でやることも多くなってきているとありました。私どもも、普通にタブレット上でサインをすることもあります。そのあたりの指導をしているのでしょうか。

(加藤俊一 国語教科用図書調査研究専門部会長) ICTで、例えばこのような意見がありますが、皆さんはどうですかという質問に対する意見をタブレットで打ち込んで、皆でどのような意見が出たかを集約することで時間的にも効率的にでき、そのようなことは小学校の段階からもやってきております。ただ、中学校の中でタブレットだけをメインにしてということはなかなか難しいかなと思います。先程おっしゃられたように書くことも大事なので、ノートをしっかりと書いたり、レポートをしっかりとまとめたり、そのようなこととバランスを取りながら効率よくできる部分については、ICTでの視覚教材もどんどん使って国語の授業を進めているところでございます。

(小池智司 委員) 各発行者が二次元コードを使っていますが、この二次元コードを読み込むと、ある発行者では読み方に対して、ここは強くとか、ここは感情を込めてというようにアナウンサーの方が音読をしているものもありましたが、実際の授業の中で、音読をするときに、そのような活用をされることはあるのでしょうか。

(加藤俊一 国語教科用図書調査研究専門部会長) 特に長文の物語に関しましては、やはりプロの方に読んでもらったもので流れであったり、間であったり、情景を考えると読み方で工夫がありますので、子どもたちにも浸透しやすいかなというところです。私も授業を見てますと、長編のものについてはタブレットで読み取ったものや、音声のCDなどで見本を流すような活用をしているという場面はあるかと思えます。

(内田みどり 委員) 国語の教科書と書写の教科書とで、発行者を変えた場合に弊害はございますか。

(加藤俊一 国語教科用図書調査研究専門部会長) リンクしているところはありますので、使い方とかが多少はあるかなと思いますが、単元としてはしっかり切れています。慣れのところかなというところもありますので、違うのであれば違うでも、どの発行者も学習指導要領に則って作成されていますので、多少は慣れの部分では使いづらいということはあるかもしれませんが、指導内容として学習内容として、まずいなどということはないかと思えます。

(西倉剛 教育長) 他に質疑、意見はございませんか。

(西倉剛 教育長) ないようですので、質疑を終了いたします。

～専門部会長 入替え～

(西倉剛 教育長) 続いて「社会」及び「地図」の説明をお願いします。

(萩谷健 社会教科用図書調査研究専門部会長) 社会(地理的分野)につきましては、4者が発行しております。これらを研究しました結果を報告いたします。

東京書籍株式会社は、小單元ごとに「学習課題」が明記されており、一単位時間の学習で身に付けるべき内容がわかりやすいものとなっております。各章の終わりに「学習のまとめ」を設定し、問題を解くことで知識の定着を図ることができます。サブタイトルの設定により、一単位時間ごとの課題設定がしやすくなっています。單元ごとのまとめの活動の「見方・考え方を働かせて探究課題に答えよう」では図に例示がされています。デジタルコンテンツが各單元設定されており、動画や問題演習の他、情報収集や興味関心のある内容を追求することができます。

教育出版株式会社は、小單元ごとに「学習課題」が明記されており、学習内容をわかりやすく示しています。また節ごとに「学習テーマ」と「学習する地球的課題」が設定されており、複数の着眼点から考えながら学ぶための工夫が見られます。2地点の雨温図の比較が一般的な中で、3地点を比較できることは特徴的です。同じ気候帯でも特徴が異なることを雨温図で確認できます。巻末の用語解説も充実しています。

株式会社帝国書院は、小單元名の下に章や節ごとの問いが記載されており、まとめや振り返りがしやすくなっています。節の振り返りでは、さまざまな思考ツールを効果的に使い、筋道を立てて考え表現できる工夫がされています。デジタルコンテンツの内容が動画や問題演習の他、多種多様であり、小学校の振り返りや学び直しも可能となっております。また思考ツールも説明付きで用意されており、他教科での活用も期待することができます。

日本文教出版株式会社は、「地理+α」で重要語句を確認したり、重要語句の補足説明をしたりしています。「節の問いを立てよう」では、課題に直結する写真やグラフが提示され、学び合いによって考察できるよう工夫されています。深い学びを実現するために設けられている「議論してみよう」のテーマが具体的かつ社会課題に正対しており、学習後も生徒たちの問題意識の高まりや、視野の拡大が期待できます。

これで、社会(地理的分野)の報告を終わります。

社会(歴史的分野)につきましては、9者が発行しております。これらを研究しました結果を報告いたします。

東京書籍株式会社は、「スキルアップ」として21項目が取り上げられており、歴史の学習に欠かせない基礎的・基本的な技能を身に付けさせるための工夫がされています。また特設の「もっと知りたい!」が設けられており、学習内容を深めたり、広げたり、違う視点で捉えられるようになっていきます。「課題解決的な学習のために」として教科書の使い方と学び方が示されており、生徒自身で学習が進められるように工夫されています。

教育出版株式会社は、「歴史の技」として資料の調べ方、活用の仕方、読み取り方といった歴史学習の基本的な技能を身に付けさせるための工夫がされています。また「TRY!」として内容にもう一步踏み込んで思考力等を高めさせるための設問がされています。各章の始めに「LOOK!」というページが設けられており、学習のきっかけとなる資料を読み解いて、これから学ぶ時代をイメージしやすくしています。

株式会社帝国書院は、本文見開き1ページの最後に「確認しよう」が設けられており、本文から書き出させることで知識の定着を図れるようにしています。特設の「アクティブ歴史」では本文の内容について資料を掲げ、「整理しよう」「考えよう」「表現しよう」の三段階で思考力・判断力・表現力を鍛えられるようになっていきます。11のテーマで設けられている「歴史を探ろう」は問いかけと解説が一体となっており、興味・関心をひくものとなっております。

株式会社山川出版社は、各章末の「まとめ」では見開き1ページで学習者が内容を書き込み、確認できるようになっています。本文見開き1ページ中に設けられた「ステップアップ」は「まとめてみよう」「考えてみよう」とあり、思考力等の育成を促すものとなっています。本文見開き1ページ中に設けられた「ステップアップ」は「調べてみよう」もあり、主体的な学習を促すものとなっています。また文字資料と視覚資料が多く掲載されています。

日本文教出版株式会社は、節の最後に「歴史を掘り下げる」という項目が設けられており、知識を深めることができます。見開き1ページの最後に「表現」が設けられており、表現力を鍛える設問が設定されています。また節始めのページだけではなく、どのページにも「単元を貫く問い」が明記されており、大きな視点で学習に取り組むことができます。特設ページでは身近なものや内容を深掘りした資料が掲載されています。

株式会社自由社は、本文見開き1ページの端に記されている解説が詳細であり、内容が深掘りされています。また「800字で人物伝記を書いてみよう」など、学習者が自らの言葉でまとめることを促すページが設けられており、思考力等を身に付けさせるものとなっています。学びに向かう力、人間性を育成するための工夫として章や節のところで学習者に見立てたキャラクターが台詞調で疑問を発しており、自分事として学び、捉えやすくなっています。

株式会社育鵬社は、各章末に「学習のまとめ」という特設ページが設けられており、教科書へ書き込みもしやすく、学習内容の確認がしやすくなっています。特設の「歴史ズームイン」では本文内容についてより深い解説や別の視点からの見方を示す資料や情報が紹介されています。肖像画や人物写真が多く見受けられ、小学校社会科の学習からは接続がしやすくなっています。また目次ページに二次元コードが掲載されており、アクセスしやすくなっています。

株式会社学び舎は、本文が始まる前に「フォーカス」というコラムがあり、知識を深めることができますようになっています。また各章末では、学習者の思考力・判断力・表現力を問う設問がされています。本文見開き1ページで構成していますが、学習課題がテーマ史的に設定されており、「これは何か?」と思わせる構成になっています。「歴史を体験する」コラムでは様々な体験学習を紹介して、主体的に学習を進められるようにしています。また、全て敬体で表記されています。

令和書籍株式会社は、資料よりもより解説を充実させるため、本文の割合が多く、内容量も多いものとなっています。また「考えよう」という設問があり、掲載資料中から学習者自身の考えをまとめるための問いかけとなっています。章の始めには漫画風の挿絵があり、各時代に対するイメージを学習者がもちやすいものになっています。文字資料が多く充実しており、個別の内容について深く探究して主体的に学び、知ることができるようになっています。

これで、社会（歴史的分野）の報告を終わります。

社会（公民的分野）につきましては、6者が発行しております。これらを研究しました結果を報告いたします。

東京書籍株式会社は、見開きのページ左上に「学習課題」が、左下に「チェック」があり、本文から抜き出す課題によって知識を習得できるようにしています。単元の最後に「深めよう」があり、学習した知識や概念を用いて発展的な課題に取り組むことができるようになっています。また単元の最後に「振り返ろう」があり、学習した知識や概念を用いて単元を貫く問いについて考えることができるようになっています。

教育出版株式会社は、見開きページ左上に「学習課題」が右下の「確認」で知識・技能に係る課題や見方・考え方を働かせて思考する課題が提示され「表現」で学びを振り返ることができるようになっています。単元の最後に「各節で学習したことを振り返ろう」があり、わかったことを記述するようになっています。単元の最後に「未来のためにできること」があり、学習したことを実社会の問題

としてどう捉え、よりよく考えることができるようになっていきます。

株式会社帝国書院は、単元の最後に「節の振り返り」があり、思考ツールを用いながら得た知識を確認し、整理できるようになっています。欄外の「アクティブ・公民」では得た知識を活用して実際の論争問題や社会的事象について、見方・考え方を働かせて多面的多角的に思考する構成になっています。単元の最後に「探究学習への準備」があり、知識や概念を用いて、探究的に現代社会の課題を捉え、よりよくするために考えることができるようになっていきます。

日本文教出版株式会社は、各単元の最後に「語句の意味を確認しよう」があり、重要な語句の確認ができるようになっていきます。欄外の「アクティビティ」では、論争問題が多く扱われ、議論しながら思考を深めることができるようになっていきます。見開きのページ左上に「学習課題」が明示されており、何を学ぶかが明らかになっています。デジタルコンテンツが豊富でほぼ全てのページに設定され、語句の確認や問題演習ができるようになっていきます。

株式会社自由社は、単元の最後に「学習のまとめ」として各時間の学習における「最重要語句」を確認できるようになっています。特に経済分野においてゴシック体で強調される語句が多く、知識を得るという点で説明が詳細になっています。欄外には「やってみよう」等の発展的な思考を試す課題が示されています。単元の最後に「学習の発展」があり、テーマを選びレポート課題に取り組むことができるようになっていきます。また、フォントが大きく広いため読みやすくなっています。

株式会社育鵬社は、見開きのページ左上に「課題」、右下に「確認」があり、本時の学習内容を振り返り、知識・技能の定着を図ることのできる構成になっています。単元の最後に「学習のまとめ」があり、重要な語句の確認ができるようになっていきます。ページ右下の「探究」では、考えを深めるための問いが提示されています。欄外の資料が豊富であり、多面的・多角的に考察することができるようになっていきます。デザインやフォントの工夫もなされています。

これで、社会（公民的分野）の報告を終わります。

地図につきましては、2者が発行しております。これらを研究しました結果を報告いたします。

東京書籍株式会社は、歴史的分野と公民的分野に関連する資料の表記がされており、復習する時間を設定することで知識の定着を図ることができます。年代別の地図や写真資料から、変化やその理由を地形や社会的条件に着目して考察することができます。現在の東京都と江戸時代末期の江戸を比較する鳥瞰図では、地図が示す場所や大きさが同じであるため比較して気付くことが多くなるよう工夫されています。標高と水深の表記が立体的でわかりやすいです。

株式会社帝国書院は、「地図で発見」の項目が、様々な角度からの問いや取組になっており、資料を活用する技能の定着が期待できます。テーマ学習のページでは「主題学習」が設定され、地図の見方・考え方が示されています。主題図に付加されている情報が適切であり、道筋を立てて考えることができます。地図を基に確認や深化ができる問いが100問以上設定されています。内容も基礎基本から応用まで多岐にわたり、自主学習での活用も期待することができます。

これで、地図の報告を終わります。

（西倉剛 教育長） 調査研究事項についてご説明いただきました。多岐にわたる内容になりますので、分野ごとに質疑を進めていき、最後に全体的な質疑があればということで進めてまいります。まず、地理的分野について質疑・意見はございますか。

（内田みどり 委員） 地理は1年生が学習すると思いますが、途中から歴史をその学年でやるということはどうでしょうか。

(萩谷健 社会教科用図書調査研究専門部会長) 1年生と2年生とで併習の形で授業を行い、3年生でも、歴史と公民という形で現在進めさせていただいています。

(内田みどり 委員) その場合、発行者を変えるというのは、できれば一緒の方がよいということはどうでしょうか。また、現在使っている教科書を今の1年生や2年生が、他の発行者に変えた時に何か問題はございますでしょうか。

(萩谷健 社会教科用図書調査研究専門部会長) 内容としては、基本的には学習指導要領の中で押さえるべきことということでやっておりますので、特にその弊害といえ、例えば付随した調べものであるとかそのようなもの等との絡みぐらいのところであって、実際のところは変わったところで弊害というほどのことはないかなというふうに考えております。これは我々の社会科の部会の中でも話しております、いずれも差がなくなってきたと言え、言葉に語弊がありますけれども、どの発行者も特徴を備えて、揃えてきているというところがありますので、特に弊害というところはございません。

(大塚崇行 教育長職務代理者) 地理は情報量が多いなというように感じました。それぞれの表現の仕方というところで、写真と文字の配分や配列が各発行者でそれぞれ特徴があるかなというように思っております。写真や表などで視覚的に訴えているものあれば、文字で読み込ませていくというものもありますが、そのような部分に対しての違いについて協議されたことはございますでしょうか。

(萩谷健 社会教科用図書調査研究専門部会長) 以前から話題になっていることでございまして、子どもたちの読み取る力や、これは国語とも関連してくるのかもしれませんが、情報量という部分でいきますと、見たら圧倒的にすごいなというように入ってくるということをどの発行者もイメージしているのかなと思います。実際に社会科の授業を見に行ったりしますと、以前の地理と全然違っていて、調べてごらんと言ってポンポンと調べて、これが出てきて、あそこはこれだよという提示の仕方です。社会科地理は回しているところがあります。以前我々が教わった頃は、教科書で理念の学習のような感じであったので難しいというところが、今は変わってきていて、授業の形態も変わってきているというように感じているところがあります。

(西倉剛 教育長) 地形図の扱いがそれぞれの発行者によって違うのかなと思いますが、その件について協議で出たことはございますでしょうか。

(萩谷健 社会教科用図書調査研究専門部会長) これにつきましても、私自身も頭が古いものですから、以前は白地図という形で、地形図などいろいろなものを手で書くということをよくやっておりました。今はそれがどうなっているのか聞いてみましたところ、その地形図や白地図の扱いなどの実際の作業というものをあまり今はやらず、ICTなどを使って重ねていくということでした。実際に等高線を書くことは減ってきていることがわかりまして、学習としてこれも工夫をしていく必要があるという話は出ておりました。

(西倉剛 教育長) ICTを活用して二次元コードで読み込んで学習するという形にシフトしているということですね。

(萩谷健 社会教科用図書調査研究専門部会長) その通りでございます。

(矢野誠二 委員) 子供の目線と指導者の視点とがあり、やりやすさ等で差があると思いますが、例えば解説内容等が巻末などにまとめてあるものと、同じページにあってすぐ確認できるような見せ方をしているものがあり、それぞれのそれは特徴なのですが、子どもや指導者としては、どちらの方が授業として受けやすいのか、また指導しやすいのかということをはかる範囲で教えてください。

(萩谷健 社会教科用図書調査研究専門部会長) これも話題になりまして、職員によって、自学自習として、例えばレポートを作るとか、家庭学習をしたり、時間の中で調べる学習をしたりというときに後ろにあった方がよいという意見もあれば、授業の中で完結するためには欄外にあった方がよいという意見もありました。これも調べものではタブレットで、即座に調べられるという工夫を各発行者がしていますので、どちらもそれぞれメリットがあるのかなということが話題となっておりました。

(西倉剛 教育長) よろしいですか。続きまして、歴史的分野につきまして質疑等がございましたらお願いしたいと存じます。

(谷島大 委員) 社会科全般に言えることなのかもしれませんが、特に歴史的分野においては多くの写真を含めた資料を見ながら学んでいくという印象があります。その中で各教科書を見ますと、資料や写真などのボリューム、レイアウト、あるいは大きさ、本文とのバランスなどという意味で、まちまちであるというように思っていて、実際に生徒たちに教える、あるいは生徒たちが学んでいく中で、資料をどの程度活用していくべきなのか、あるいは量が必要になるのかということについてはどのように検討されたのかお聞かせください。

(萩谷健 社会教科用図書調査研究専門部会長) 各発行者に特徴があって、資料に力を入れているところもあれば、説明に力を入れているところもあります。その中で扱いきれるか、又はきれいかというと、言葉に語弊があるかもしれませんが、生徒の中で一般化しているというか、学んでいてこなれている資料というものと、そこにプラスアルファでここまでを知っていて、又は知らなくてという、要は歴史が好きな子どもにとって面白いという資料というもので、その導き方の部分は教員の判断の基準が必要になってくるのかなという話がありました。歴史もそうだと思いますが、行こうと思えばいくらでも深堀していけるという部分もあれば、子どもによってはそこまで必要ないとか、なかなか理解が追いつかない子どももいるので、使い方というのはそれぞれのちょっと裁量とかあるいは教員が研修をしていくことによって学んでいく必要があるのかなという話は出ておりました。

(内田みどり 委員) 歴史の分野は暗記の授業かなというように感じています。本文は字体が大きい中で、小窓の中にある説明というのが各発行者により違いがあるように感じました。その中で、息子のときの授業を思い出すと、小窓から出題されるテストも多かったように思います。その扱いがどうなのかなということで、子どもにしてみれば、黒字に反転されているところを暗記しなくてはいけたりもしますが、それが多いのか少ないのか、多ければそれを全部覚えなくてはいけなくなると大変ですし、少なければ足りないのではないかとということもあつたりもします。その扱いは教員の方はどのように考えているのか伺います。

(萩谷健 社会教科用図書調査研究専門部会長) これも話題になりましたが、突き詰めていくと、塾など他の場所で学んでいっぱい知っている子たちが増えていて、歴史が好きな子は覚えているという子

どももいれば、苦手な子も中にはいて、でも最低限これだけ覚えさせたいよねというような形でやっております。小窓の出題というのは増えてきてるかなというのは、太字だけでは網羅できないとか、カバーできないと言っています。また、歴史の話は進んでいて、津々浦々、新聞などの情報や話題があって、子どももそういうことを知っているということもありますので、できればそのような発展的な学習だけでなく、授業で扱っていくということは必要であろうという話はしております。

(大塚崇行 教育長職務代理者) 歴史の学びというと、何年に何が起きたという暗記に偏ってしまうところがあると思いますが、歴史の流れや前後の繋がりとか、どうしてそのことが起こったかを理解していかなければならないと思っています。そのような内容に関しての各発行者の特徴について協議されたところがあれば教えていただきたいと思っています。

(萩谷健 社会教科用図書調査研究専門部会長) 各発行者それぞれに一つひとつというわけにはいかないと思いますが、人物を中心に進めていくという書き方と、従来型の歴史の時代区分ごとにやっていくという形と、あまりそういう形では書いていませんが、できるだけ今に繋がりを持たせながら記述をしているところとがあり、また資料よりも文章で説明しているなど特徴はあるとは思いますが、これらの人物中心、歴史区分、それから現在との繋がりとというようなところが見えてきたのかなというようには思いました。

(矢野誠二 委員) 私が子どものときには暗記の教科というイメージがありましたが、いろいろな教科書を見ると、子どもたちに議論させるような内容も多くなっていて、大きく変わってきたなとは思いますが。ただ、最終的に、自分が思い出すのは、特に肖像画や写真などの資料は、いまだにそれを見るとその名前が出てくるというインパクトのあるものでした。子どもたちには、言葉ばかりだけではなくて、資料の部分が豊富なものが授業で使う教科書には、適しているのかなと個人的には思っています。ただ、どの発行者も資料が豊富で、さらに二次元コードまであり、それを出してみないとわからず、紙の教科書だけでは判断しづらい部分もあります。扱う先生方は大変だろうなとは思いますが、そういった意味で、先生方の教科会や研修会などでそういったところが大事であると感じています。学校現場でのそういった指導の仕方への充実の機会を多く持っていただきたいと思っています。

(西倉剛 教育長) 具体的な話になりますが、私が見た中で、例えば教育出版株式会社や株式会社学び舎等では、単元のタイトルに「散切り頭を叩いてみれば」など、そのようなタイトルを使っていました。「江戸幕府の成立」というような普通のタイトルと、そのようなタイトルとの違いなどについては議論になりましたでしょうか。

(萩谷健 社会教科用図書調査研究専門部会長) それぞれの発行者が特色を出してきているねという話は出ていまして、その意図として、話し合い活動を充実させることや、あるいは徹底して専門的なことを叩き込むというようなこととで、どちらがよいのかと考えたときに、それぞれの意見はあるとは思いますが、このようにやったら果たしてこれが子どもたちの中に入っていくのかなという話は出ていまして、特段それでどちらの方がよいという話にはなってはいませんが、新機軸を打ち出してきているということは話題になっておりました。

(西倉剛 教育長) 他はいかがでしょうか。よろしいですか。では、歴史的分野はこれまでにしまして、公民的分野に移りたいと思います。公民的分野についてはいかがでしょうか。

(大塚崇行 教育長職務代理者) 公民に関しては、地理があり歴史がありということでの三つの繋がりが大切だと思います。各発行者にそれぞれ特徴があって、それを関連づけるような項目があったと思いますが、それに関して議論等はございましたでしょうか。

(萩谷健 社会教科用図書調査研究専門部会長) 公民に関しては全ての発行者にそのような意図がおそらくあるとは思いますが。主権者教育や、選挙権が18歳以上になったというようなことを踏まえたと思いますが、政治に参画という形のことというのをかなり考えているんだろうなということがあり、その中でも他の地理や歴史の内容を踏まえてというよりは、三つを同時進行でやらなくてはいけないというようなイメージとしてはあるのかなと思います。以前は重ねた上に公民という形があったと思いますが、各発行者が各分野との相関のようなものを挙げていますので、同時進行で三つの柱があるようなイメージであるというような話が出ました。

(大塚崇行 教育長職務代理者) 発行者によっては下の方にどこに繋がりがありますよと書いてあるものが2者ぐらいありましたので、わかりやすいのかなと思いましたが、教科書がないとそこを見返せないというところもありましたので、それは大変なのかもしれませんが学習を深めていく分には大切なのかなと思いました。

(内田みどり 委員) 3年間に渡って教科書が配布されると思いますが、公民は3年生で渡されて、3年生だけで使用するということでしょうか。

(萩谷健 社会教科用図書調査研究専門部会長) そのとおりです。

(小池智司 委員) 成人年齢が18歳に引き下げられたこともあり、各発行者が18歳のステップとか、18歳の学びとかがありますが、中学校3年生の段階で、例えば選挙のやり方などを取り入れて授業で行っているのでしょうか。

(萩谷健 社会教科用図書調査研究専門部会長) どの中学校であると思いますが、いわゆる生徒会選挙などを含め、3年生中心になると思いますけれども、そのような形での政治参画の勉強として、公民の授業でもやっていることがあります、それらをうまくシンクロさせてやっているということは、場面としてよく見受けられます。

(西倉剛 教育長) 全発行者に共通しているところであると思いますが、対立と合意、効率と公正に対する扱いが強くなっていると思いますが、その件について部会で議論されたことがございましたら教えていただけますか。

(萩谷健 社会教科用図書調査研究専門部会長) 公民の内容に関しては、いわゆる先ほどの紛争とか議論をするべき内容についての扱いがかなりピックアップされていて、日本社会のそういう社会的な背景などもあると思いますが、合意の形成であるとか、あるいは最終的な世論の形成がされる方法であるとかは、日本人が苦手としてきたところなので、そういうことを公民では言っているということが、公民を一生懸命勉強している教員から聞こえてきました。今回、かなりそのように意識して、主権者教育や参画教育という形に持っていつているのであろうということを感じました。

(西倉剛 教育長) どの発行者も強く、大きく扱ってらっしゃるところがありますよね。

(西倉剛 教育長) 他にはよろしいでしょうか。最後に地図についてございましたらお願いします。

(内田みどり 委員) 2者の違いを見たときに、一方の発行者では航路について詳しく書かれているものがありました、航路は授業的には使うものなののでしょうか。

(萩谷健 社会教科用図書調査研究専門部会長) グローバル化で飛行機に乗ることも当たり前になってきていて、オリンピックをやっていることも含めてだと思いますが、海外との繋がりという形での記載として、グローバル化を念頭に置いたことというように思います。授業の中では地図の書き方という形では出てくるとは思いますが、身近な話題として出てきているのかなというように思います。

(内田みどり 委員) 発行者によって巻末の内容が違っていたと思います。地図の先生方がご指導なさるにあたって巻末の資料は重視される場所というのはございますか。

(萩谷健 社会教科用図書調査研究専門部会長) 昔の最初の地図学習の仕方、索引で地図を調べさせるということをよくやっていたのですが、その形の地図の使い方というのと、統計資料が非常に充実しています。ただここ数年は情報が早く変わっていきますので、その地図帳は古いものになってしましますが、扱いとしてはこの資料は、地理の内容では非常に重たいものになっているという認識であります。

(谷島大 委員) この地図の使い方の部分ですが、例えば地理は1、2年生で学び、歴史は1年生から3年生までかけて学び、公民は3年生で学び、地図は1年生から3年生まで利用するというような形で紹介されましたが、地理が終わった3年生は、例えば公民のときや歴史のときに一緒に地図を持って勉強に臨むものなののでしょうか。

(萩谷健 社会教科用図書調査研究専門部会長) 公的的分野の中にも、地理と重複している内容もございまして、今の世界と日本との関係みたいなことでも地図を見て、こういう国があって国連なんかの話もそうでしょうが、いろいろなそういうものを一覧で見やすいということがあるので、私も教えていたときには地図帳を持って来るよう言っていました。ただ今現在の3年生の先生がそれを必ずやっているかどうかは自信を持っていませんけれども、おそらく持っている形になると思います。

(内田みどり 委員) アンケートを拝見したときに、地図で無くなっている路線が、例えば北海道の鉄道路線などがありますがこれは訂正になるのですかというアンケートをいただいていたのですが、そういったものは訂正になるような情報はあるのでしょうか。

(萩谷健 社会教科用図書調査研究専門部会長) 地図ではなくて教科書だと思いますが、そのような場合に訂正するものが出てきたというようなことはありました。ただ、地図の場合は編集をかなり前にやっているものなので、おそらく訂正が間に合わないものについて、後日そのような形で訂正というのが入るのかなというように思います。教科書の他の部分では、そういうものがあつたと記憶しております。

(西倉剛 教育長) よろしいですか。今分野ごとに分かれてのご質疑等を頂きましたが、社会科全体的な分野で質疑等があればよろしくをお願いします。

(大塚崇行 教育長職務代理者) SDGsについて取り上げているところが、発行者それぞれの分野であると思っております。地図で特徴的であったと思ったのが、一方の発行者は最初のところで、持続可能な社会の4項目ぐらいを細かく載せていて、これはSDGsを考えさせるにはすごくよい入り方だなというように思いました。そういう部分で、この全体的にSDGsの取扱方について、何か議論等はあったのでしょうか。

(萩谷健 社会教科用図書調査研究専門部会長) 本筋とは外れる話かもしれませんが、挿絵やナビゲーターとして登場する人物などを意図的に配列して、男の子とか女の子とかではなく、そういったような配慮はかなりされていると思います。これはどの教科もそうなっていると思いますが、そういう形で意識している部分と意識していない部分とが合わせてであると思いますが、導入やナビゲートの仕方をかなりしているのかなということが話として出ていました。

(西倉剛 教育長) 他にいかがでしょうか。よろしいですか。

(西倉剛 教育長) ないようですので、これにて社会科の地理、歴史、公民、地図の質疑を終了いたします。ここで、10分間の休憩を行います。再開は、10時55分といたします。

～休憩、専門部会長 入替え～

(西倉剛 教育長) 続いて「数学」の説明をお願いします。

(山本幸年 数学教科用図書調査研究専門部会長) 数学科については、7者が発行しております。これらを調査研究した結果を報告します。

東京書籍株式会社は、知識及び技能の習得について、反復練習が効果的な問いには、類題に取り組むためのデジタルコンテンツ「フラッシュカード」が用意されています。思考力、判断力、表現力等の育成について、各学習内容の導入場面で、数量や図形の性質を見いださせる発問が多く示されています。主体的に学習に取り組む工夫として、章末問題のデジタルコンテンツには、解き方の手順や類題が用意されています。また、各学習内容の終末には、「学びを振り返ろう」を設定し、働かせた見方・考え方を振り返り、数学的に考えることの良さに気付かせる発問が多く示されています。

株式会社新興出版社啓林館は、知識及び技能の習得について、学習内容を例、例題、適用問題の順で構成し、習熟のための「補充問題」をデジタルコンテンツとして用意しております。思考力、判断力、表現力等の育成について、発展的な問題を扱う際に、問題解決の流れをステップ化して段階的に示しており、問題解決的な学びを促しています。主体的に学習に取り組む工夫として、問題解決のために働かせる数学的な見方・考え方を、標識イラストで示しています。また、章末には、振り返りの活動を設定するとともに、生徒が振り返りの視点に着目できる例文を示しています。

大日本図書株式会社は、知識及び技能の習得について、各節末に確認問題を、章末に章を振り返る問題とその学びを生かす問題を設定しており、単元を通して学びを深めやすい構成になっています。思考力、判断力、表現力等の育成について、数学的な表現の説明や式・記号の意味が具体的に示され

ています。主体的に学習に取り組む工夫として、巻末や章末に、数学の歴史や数学と仕事との関連が分かる資料を掲載し、数学の良さや価値に触れています。また、巻頭に、数学的な問題解決の過程と働かせる見方・考え方の具体例を示し、デジタルコンテンツには、解説動画やwebテストが用意されています。

数研出版株式会社は、知識及び技能の習得について、章に入る前に「ふりかえり」の頁を設け、関連する既習内容を示しています。デジタルコンテンツでは、個々の習熟に応じて設定できる補充問題が用意されています。思考力、判断力、表現力等の育成について、導入問題に対するキャラクターの対話文が補助発問となっており、生徒が問題解決の見通しをもちやすくなっています。主体的に学習に取り組む工夫として、視覚的に理解したり個々に作業したりするデジタルコンテンツが用意されています。また、紙面のデジタルコンテンツの標識と二次元コードを区別し、授業で扱いやすい配置にしています。

学校図書株式会社は、知識及び技能の習得について、各章の前に「ふりかえり」の頁を設け、関連する既習内容と働かせる見方・考え方を具体的に示しています。思考力、判断力、表現力等の育成について、「次の課題へ」として、本時の学習内容を次の課題につなぐ発問が示されており、単元を通した深い学びを促しています。主体的に学習に取り組む工夫として、デジタルコンテンツ「ふりかえり」「アニメーション」が用意されており、関連する知識を学び直すことができます。その他、各単元の導入問題では、働かせる見方・考え方を付しており、巻末には、見方・考え方を振り返るページが用意されています。

教育出版株式会社は、知識及び技能の習得について、学習内容に関連した知識を「学習する前に」「もどって確認」「数学メモ」で示しています。思考力、判断力、表現力等の育成について、巻頭に「数学的な見方・考え方」の説明があり、問題解決の場面や既習事項を例に具体的に示しています。主体的に学習に取り組む工夫として、章の導入で数学と社会とのつながりを示しており、数学を学ぶ価値に気付かせる工夫がされています。その他、デジタルコンテンツは、「アニメーション」、「シミュレーション」や「統計ツール」など、問題理解促進や作業の効率化を要する場面に二次元コードが配置されています。

日本文教出版株式会社は、知識及び技能の習得について、章を学ぶ前に関連する既習事項を確認できる頁が用意されています。反復が効果的な問いには、ランダムに問いが出題されるデジタルコンテンツが用意されています。思考力、判断力、表現力等の育成について、各内容のめあてや例題の見出しは、学習内容が使用できる条件やどんな場合について考えるかを具体的に示しています。主体的に学習に取り組む工夫として、巻頭で、主体的に学習に取り組む態度を具体的に示しています。デジタルコンテンツは、効果的な場面に精選されており、二次元コードが学習内容の近くに見やすく配置されています。

これで、報告を終わります。

(西倉剛 教育長) 調査研究事項について、説明いただきました。ただいまの説明につきまして、質疑・意見はございますか。

(矢野誠二 委員) 空間図形と言いますか、巻末に立体の多面体を作れるようなものがついてる発行者とそうでない発行者があります。私もそうでしたが、空間図形のイメージは難しいです。数学に限らず、二次元コードでそういった理解を助けるようなコンテンツがありますけれども、自分の指で触ったり角度を変えたりというのは、アナログですけど、そういった紙でも、立体図形というもの、または展開してみるとか、そのように実際に手に触れてやる方が、子どもにとっては思考力に助かるのか

なと思いますが、そういった議論されているのでしょうか。

(山本幸年 数学教科用図書調査研究専門部会長) デジタルの良さや、具体物の良さでどちらが良いかというような議論については、あまりされないのかなというように思っております。それよりは、デジタルの良さは何か、具体物の良さは何かということで、数学科の中では話し合われることの方が多かったというように思っています。

具体的には、学校では組み立てるという作業もしますし、展開をして開いてみるという作業も実際にしてみることで、理解を促進できる場合がありますし、ほとんどの学校では、おそらく立体模型というものが、木であったりプラスチックであったり、用意されております。本校でも最近新しいものを用意しようというように数学科の教員と話したところですので、実際に触れてみるという良さというのは、数学科の先生方は感じていると思います。ただ、木の立体を展開することは難しいので、そのようなときには、デジタルでしかできないような学びがあると思っておりますので、デジタル教材を効果的に活用しているというところが現状ではないかと思えます。

(谷島大 委員) 数学について、自分の経験から学んだ中では、学んだ後、基礎や応用のたくさん問題を解いて、だんだんできるようになってくるような印象がありますが、問題の量や難易度のバランスが結構違うのかなと思いました。これはデジタルコンテンツ等も含めて、補充されている部分もあるのかもしれませんが、問題量や問題内容に関しては、どのように検討されたのかお聞きします。

(山本幸年 数学教科用図書調査研究専門部会長) 今回の調査研究では、問題の質と量については、議論を行っております。紙面に多く問題が用意されていて、確認問題や章末問題、さらに発展させる問題と用意されている発行者が多かったかと思えます。さらにデジタルコンテンツを二次元コードから入ってみて、どのような問題があるのかということで、協議させていただきました。デジタルコンテンツと教科書の紙面を含めた問題の量については、どこが多いとか少ないというような考えには至りませんでした。ただ、問題を全て扱うとなるとかなりの問題量にもなりますし、実際に授業の中で取り扱うことができる問題数も限られておりますので、そういった質については、各発行者が問題なく取り上げて、あとは生徒の習熟の具合を実際に授業で見て、教師が適切に問題を追加するとか、問題を選択して、授業の中で取り扱うというようにしていかなければならないというような議論をさせていただきました。

(谷島大 委員) 小学校などでは算数ドリルのようなものが学校で配られる印象がありますが、中学校にもそういうものがあるのですか。

(山本幸年 数学教科用図書調査研究専門部会長) 市で統一したものはございませんで、保護者から教材費を集金し、その教材費の中から数学のいわゆるワークというようなものを、各学校で数学の担当がその実態に応じて選んだものを購入して使用させていただいています。

(内田みどり 委員) ここ数年の学力調査では、数学はもう少し伸びても良いかなというように感じています。さいたま市では学力がかなり高く、教科書も違いがあったりするところもあるんですけども、この教科書の違いがあるのかなと感じるときがあります。さいたま市で使っている教科書を見てみると繰り返しの解き方だと思えますが、今使っている教科書よりも多い気がします。さいたま市とか他の市町村との違いということについて、研究とかはありましたでしょうか、

(山本幸年 数学教科用図書調査研究専門部会長) 7者の教科書については、協議をさせていただきましたが、どこの市がどの教科用図書を使用していて、どのぐらいの学力に繋がっているというような議論には至りませんでした。

(内田みどり 委員) 学力を上げてあげたいという気持ちがあります。

(小池智司 委員) 7者の教科書を見て、教科書の内容として詳しく説明している発行者もあれば、これは難しいのかなとか数学的だなというようなものもありますが、先生方が教える立場として、内容の難しい教科書を使って、子どもたちの学力を上げようとするときに、数学がそれほど得意ではない子を取りこぼしてしまうと意味がなくなってしまうと思いますので、そういった中で、説明が詳しくある方が教える先生の立場としては扱いやすい教科書なのか、それとも子どもたちに考えさせられるような方がよいのかというような議論っていうのはあったでしょうか。

(山本幸年 数学教科用図書調査研究専門部会長) まさにその議論をさせていただいたと思っております。ある発行者の教科用図書については、内容が整理をされていて、比較的ベテランの教員が使うには、非常に幅を持たせながらやれるのかなというような意見もありましたし、流れが詳しく書いてあるものについては、最近では初任者だとか若い先生も多いので、そういった経験のまだ若い先生にとっては非常に使いやすいのではないかなというような議論をして、どちらもよいよねというような話はさせてもらいました。ただ、あくまでもその教科書に載っている全てを取り扱って教えるということではなくて、この教科書で教えるということはどう扱うかというのは、先生が子どもの様子を見ながら、実態に合わせて指導するときが変わってくるものだと思いますので、その教科書で指導するということは大事にして協議させていただいてきました。

(大塚崇行 教育長職務代理者) 私が悩んだところというところでは、難易度のところで悩みました。基礎的なものを中心なもの、そして難易度を上げたもの、また中間的なものもあるというように思いましたが、デジタルコンテンツに進むことはそれでよいのですが、紙の教科書の段階として、どの部分を選んだ方がよいのかというのは迷ったところがありました。先に進めばデジタルコンテンツや、様々な資料を別々に作っているというところはあるかもしれませんが、教科書の段階でということろで、基礎的な方がよいのか、難易度を上げた方がよいのかということろで悩んだところがありますので、そこに関して何か協議の中であればお願いします。

(山本幸年 数学教科用図書調査研究専門部会長) 教科書の段階で基礎的なものがよいか、応用まで扱っていた方がよいかということろについては、実際には協議には至らなかったです。ただ7者とも、参考になったり、ためになったりするデジタルコンテンツが用意されておりましたので、そことのバランスや、実際に授業を教科書で進めていくときに、どこにデジタル教材が配置されているのかということろで、教科書とデジタルコンテンツを組み合わせて授業をしていくというこれからの授業をイメージして、総合的にどの教科書が今の自分であったら使いやすいだろうということろで、それぞれ部会員に意見を述べてもらって、協議をさせてもらいました。

(西倉剛 教育長) 日本文教出版株式会社では、1年生の巻末に厚紙で図形が付録されていたと思います。そういうものがあるものと、そういうものがデジタルに変わってきているというような時代でも

あるかと思いますが、その辺の扱いの違いについてはあるのでしょうか。

(山本幸年 数学教科用図書調査研究専門部会長) 先程の立体模型などもそうですけれども、紙の実際に組み立てられるような教材や、手に触れられる教材があれば、言葉とか書くだけではなくて、そういうものに実際に触れさせたいという気持ちは、多くの数学の教諭が感じていることだと思います。あれば活用できるかなと思いますが、ただ、それがないと困るかというのと、なくてもそれに代わる模型のようなものや、もしくはデジタルで済ませるとかもあります。経験則になってしまっていますが、付録の紙面の立体模型などが用意されていたり、工夫をしてくれていたりしますが、限られた時間の中で、作業には個人差があって、時間もかかりますので、それだけの時間を教育課程の中で確保できるかというのは、実際には難しいなと感じているところはあります。

(西倉剛 教育長) 他に質疑、意見はございませんか。

(西倉剛 教育長) ないようですので、質疑を終了いたします

～専門部会長 入替え～

(西倉剛 教育長) 続いて「理科」の説明をお願いします。

(廣美穂 理科教科用図書調査研究専門部会長) 理科につきましては、5者が発行しております。これらを研究しました結果を報告いたします。

東京書籍株式会社は、単元の始めに小学校での既習事項と他教科との関連に触れた教科等横断的な内容構成になっています。また、学習内容の整理に図を多く提示し、生活と結び付け具体的な事象として考える場面や学習前後の学びを視覚化するような内容となっています。掲載写真が全体的に色鮮やかで目を引きまします。さらに、二次元コードの構成を工夫し、動画による実験の説明や探究的な学習のサポートを簡単操作で瞬時に検索できるようになっています。

大日本図書株式会社は、単元の始めに小学校での既習事項が学習内容を含めた構成となっています。科学的に探究する力の育成として「探究活動」に新たな問題を提起する課題を提示し既習事項から考察する場面を設定しています。また、実験操作動画を二次元コードを活用しての事前確認や「つながる×Science Press」として実生活と関連する資料や学習内容が職業とつながる話題の紹介等、実験や科学を身近に感じられる仕掛けがちりばめられています。

学校図書株式会社は、単元の始めに単元を通しての課題や既習事項等のまとめ、SDGsの視点を持って学習に臨む構成になっています。「探究を深める」「理路整然」の合言葉、「この時間の課題」等を示し、内容を区切って整理しながら科学的に探究する力の育成や考えを深めていけるようにしています。ミライ教科書で、用語や動画のまとめや実際の器具の切り抜き写真を取り入れた実験操作手順、視覚的な説明を増やし教科書と資料集を融合したものになっています。

教育出版株式会社は、単元の始めに小学校からの学習の系統性、「学習前の私」と「学習後の私」として単元を貫く課題が示されています。複数の実験方法を掲載し、一つの事象を多角的に捉える実験や高校の学習内容にも触れ応用的な学習に触れる機会を設けています。科学的に探究する力を育成するために、探究の過程の見出しから学習を進める構成となっているほか、二次元コードを利用した個別学習や教科等横断的な学びを紹介しています。

株式会社新興出版社啓林館は、単元の始めに小学校での既習事項の振り返り、単元最後に「力だめ

し」「学年末総合問題」を設定し学習の定着をはかっています。科学的に探究する力を育成するために、「疑問」の見出しを設け、生徒自らの課題や結果を導く過程を書く欄の設定、課題解決の流れを繰り返す構成が思考を手助けする工夫となっています。発表スライドや解説動画の二次元コードが豊富にあり、SDGsと関連づけた「お仕事ラボ」等の説明があります。

これで、報告を終わります。

（西倉剛 教育長） 調査研究事項について、説明いただきました。ただいまの説明につきまして、質疑・意見はございますか。

（矢野誠二 委員） 単元の数や単元の順など教科書の最初からの配置が結構違います。他の教科書はそうは変わらないのですが、理科は、単元数が違うのは、目次を見ればわかりますけれど、2つの単元が統合になっているから、その発行者は1つ少ないというようなことはわかりますが、実際に使っている学校現場で、何か影響はないのかなと思っているのですが、それについて専門部会で話は何か出ているのでしょうか。

（廣美穂 理科教科用図書調査研究専門部会長） 単元の数についての議論は致しておりません。ただし学校現場で使っているときに、単元の中で全体的に理科の用語はしっかりと覚えていかなくてはならない部分がありますので、それに対しての見通しを持ったときに、融合されて1つであっても、それが順序立ててあるのであれば、教員側で工夫しながらやっておりますので、その単元の数というところで教員の負担になるということを感じるようなことは私自身もなかったような気がしております。

（矢野誠二 委員） 単元の数での議論はなかったということですが、単元の順が違って、実際に授業では簡単に言うと1ページから順にやっていくのではなくて、その単元の順というのは学校ごとに計画がおそらくあるのであろうと思います。その要因としては、例えば理科室の問題とかあります。実験を伴うために理科室でないとできない授業等も出てくるので、そういうものも学校でまちまちというように理解してよろしいでしょうか。

（廣美穂 理科教科用図書調査研究専門部会長） ある程度のはまちまちでもやっていけることは可能です。理科の場合では、単元によって物理や化学などの4つの分野がその単元で収まるので、物理と化学の分野が変わっても、そこに対しての変容はあまりないので、先ほどおっしゃったように理科室の活用やそのときに採れる植物など、そのときの状況によって、また学校によって変更は可能であると考えております。

（大塚崇行 教育長職務代理者） 各発行者で、探究の流れというのでしょうか、身近なものへの疑問の持たせ方や興味の持たせ方ということで、導入としては写真が多いように思っていますが、発行者によっては、視覚的にインパクトがあるような載せ方をしているということで、各発行者で特徴が出ていると思っております、そこに関して何か議論はございましたでしょうか。

（廣美穂 理科教科用図書調査研究専門部会長） 理科の中で考えたときには、教科柄として視覚的に訴えるものが子どもの興味付けになるので、一つの写真であっても捉えるアングルが違うことで、子どもは興味を持つよねとか、ここはもう少し違うところの写真があると子どもは興味を引くかなというような議論はしております。どの発行者もインパクトというところでは、おっしゃる通り、いろいろ

と工夫をされているということは議論しております。

(内田みどり 委員) どの教科書も写真が綺麗であって、また重たさもありましたが、専門的な用語も多いですから、暗記しなくてはいけない部分は子どもたちも難しく感じるかなということは感じたところです。そこで、より日常に近い題材や、身近に感じるものを取り上げていただくと、子どもは興味を示すところは強いなというように思ったりもしますが、そのことについての研究などはなされましたでしょうか。

(廣美穂 理科教科用図書調査研究専門部会長) 小学校と中学校の流れで、小学校ではそんなに用語を知らなくても現象として捉えていたものが、中学校になるとその小学校を受けて、これがそのような専門の用語になるんだなということはわかるので、そのことが踏まえてあるところでは、小学校からの繋がっている教科書というのはどのような構成になっているかという議論はしました。

(内田みどり 委員) 教科書によって取り上げる順番が違っているということは私も感じました。そこで、現在の1、2年生の子どもたちの教科書が変わった場合に、これはやっていないというような何か支障が出てくるということはいかがでしょうか。

(廣美穂 理科教科用図書調査研究専門部会長) その單元の中では、どの発行者も学ばなくてはならないものは必ず押さえていますので、少しずれているかもしれないですけども、基本的にはここはやっていないということはないです。

(谷島大 委員) これは理科に限らないことですが、特に理科は各発行者の教科書の大きさにバリエーションがあって、3学年分でのこの重さが気になりました。カラーで綺麗な美しい紙面になっていてよいのですが、全体的に大きくなり、厚くなり、重くなりという印象があって、保護者のアンケートでも、中学生の荷物が多すぎるとありましたが、その辺の検討の話はあったのでしょうか。

(廣美穂 理科教科用図書調査研究専門部会長) 教科書は厚さではないのですが、以前のときの教科書はそれに付随して資料集をよく理科では使っていましたが、今はデジタルコンテンツもあり、教科書とデジタルコンテンツを使ってそこにとんだりするなど、教科書と資料集を一体化した中で授業をしています。今使っている教科書は大きいのですが、限界の中で精選されていて、それはどの発行者でも致し方ないかなということは話しておりました。

(谷島大 委員) 1人1台端末で、教え方もそうですし、教科書の作り方ももう少しコンパクトになって子どもたちへの負担が少なくなったらよいのかなというところを感じました。

(西倉剛 教育長) 他に質疑、意見はございませんか。

(西倉剛 教育長) ないようですので、質疑を終了いたします。

～専門部会長 入替え～

(西倉剛 教育長) 続いて「音楽」の説明をお願いします。

(大木まみこ 音楽教科用図書調査研究専門部会長) 音楽(一般)につきましては、2者が発行しております。これらを研究しました結果を報告いたします。

教育出版株式会社は、思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫として、各題材に「比べてみよう」のマークと該当ページが示してあり、結びつけられた教材を活用することにより、曲想や音楽の構造などを比較して学びを広げられる工夫があります。例えば、歌舞伎「勸進帳」の鑑賞の関連で文楽「義経千本桜」があり物語が説明しやすいなどの工夫があります。歌詞から想像される情景の写真が多数掲載されていることにより、生活体験の少ない部分をカバーできることと、二次元コードにより、資料や模範演奏、鑑賞曲の部分演奏等を確認することができます。

株式会社教育芸術社は、思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫として、「学びのコンパス」のコーナーを設けて、学習の手順を丁寧に示し、その中で「何を考えるのか、何を工夫するのか」が明確にわかる工夫があります。また、キャラクターにより、考える観点の例示があり、「吹き出し」により、意見交換を導きやすい工夫があります。歌詞から想像される情景の写真が多数掲載されていることにより、生活体験の少ない部分をカバーできることと、二次元コードによりコンテンツの閲覧、視聴のほか、パート別歌唱練習ができるカラピアノが活用できます。

これで、音楽(一般)の報告を終わります。

音楽(器楽合奏)につきましては、2者が発行しております。これらを研究しました結果を報告いたします。

教育出版株式会社は、知識及び技能が習得できるようにするための工夫として、各楽器の奏法について手元や口元のアップの写真が多数掲載されており、初めて扱う楽器についての説明が分かりやすいです。また、リコーダーや和楽器のアンサンブルの曲が充実しており、他者との協働を行いながら、様々なジャンルの曲に挑戦できるようになっています。タンギングの種類やリコーダーのトリルの演奏方法など、細かな表現についても記載があり、自主的な活動や探究心を育てられる工夫があります。

株式会社教育芸術社は、知識及び技能が習得できるようにするための工夫として、各楽器の構造や基本的な奏法について、写真や図を用いて分かりやすく解説しています。グループ活動の中で、協働しながら学習を進められるような教材を含めています。奏法の違いによる表情の変化を考えるコーナーを設けるなど、演奏の工夫を促す教材が多数含まれている。アンサンブル曲に加えて、リコーダーや和楽器で有名な曲の旋律を演奏するページがあり、楽器に親しみやすくしています。

これで、音楽(器楽合奏)の報告を終わります。

(西倉剛 教育長) 調査研究事項について、説明いただきました。ただいまの説明につきまして、質疑・意見はございますか。

(小池智司 委員) 音楽の一般について、上と下とに2つに分かれています。学年によってどちらを先に使うとかあるのでしょうか。

(大木まみこ 音楽教科用図書調査研究専門部会長) 2・3の上と下に関しましては、2年生と3年生の間で両方使うという形になります。その年間指導計画に基づいた指導事項で、その曲を使うという形になりますので、この学年でという縛りはありません。

(小池智司 委員) 2つの発行者で、上と下で扱っている楽曲と題材が上巻に載っているものと下巻に載っているものとで逆になっているものもあつたりしますが、途中で教科書が変わった段階で、それ

に対する影響というのは、ないというように理解してよろしいのでしょうか。

(大木まみこ 音楽教科用図書調査研究専門部会長) 題材に関しましては、授業の中で、今日は2・3の上を使いますとか、下を使いますというような形で指示がありますので、生徒も、2、3年生の間はどちらも持ってくるように準備をさせていますので問題はありません。

(内田みどり 委員) 音楽の授業というと、ピアノなどを習っている子どもたちにとっては、得意な授業になると思うのですが、それ以外の子どもたちにしてみると、音楽が苦手だなと感じてしまうところがあると思います。音楽の授業では、歌うとか演奏することだけが授業の全部ではなく、そこから想像していくとか、思考を膨らませていくとか、皆で合奏することでチームワークなどを育てていくという授業であろうというように思っていますが、その中で古典的な音楽の勉強として、例えばビートルズを取り上げているとかそういったこともあると思いますが、現在子どもたちが聞いている音楽と、音楽で勉強する音楽というのはかけ離れている部分があると思います。その離れている部分をいかに子どもたちが興味を持って音楽に取り組んでもらえるのかなという思いがありまして、子どもたちがこれに興味を持てるのかなということを心配しています。現在の音楽と、それからこの習う音楽との結びつきなどについて研究された部分はございましたでしょうか。

(大木まみこ 音楽教科用図書調査研究専門部会長) 教科書に載っている楽曲に関しても、生徒の身近な曲も含まれております。まずは学校教育で目指すものとしまして、古典的なものに関しても、なるべく体験的なものを入れて、愛着を持たせる、興味を持たせるという工夫をさせておりますので、ただ聞いているだけですと、子どもたちも眠くなってしまうというようなこともございますが、そのような体験的に、そして良さを気付かせるというところに重きを置いて、授業展開ができるよう各発行者もそれぞれ工夫されておりますので、それを使いながら、また教師の方も慣れていない部分もあることがありますが研修等で深めまして、愛着を持たせられるように工夫して展開をするようにしております。

(内田みどり委員) 楽譜が読めない子どもたちも増えているのかなと思いますが、四角いマスに楽譜を書く部分もありましたが、今の音楽の授業では、五線譜ではなく、そのような授業が増えてきているのでしょうか。もしかすれば、コンピュータで音楽を作るということも現在の子供たちはしていると思うので、そのようなこともあって四角いマスのようなものでなさっているのでしょうか。

(大木まみこ 音楽教科用図書調査研究専門部会長) 五線譜で書けたり、五線譜が読めたりすることに関しましては、そこが最終的な目標ではございません。図形楽譜等で、自分で考えたことを相手に伝えるというところに重きを置いておりますので、自分で創作したものに関しても、図形楽譜で示して、グループ内で共有しながらも全員でその図形楽譜を見ながら演奏するとか、そういったこともできますので、音楽のレベルの差というところは、授業の中ではそれほど差を感じずにそちらが展開できるように工夫しております。ICTに関しても、ICT端末でサポートできる場所がありますので、そちらも使いながら、楽譜を使いながらということも含めて、ICTも活用する場所がかなり増えております。

(内田みどり 委員) 2者で迷ってしまっているのですが、この2者の一番大きな違いについて教えていただきたいと思います。

(大木まみこ 音楽教科用図書調査研究専門部会長) どちらも工夫がされているので、どちらに決まったとしても使いやすいかなというように思っておりますが、部会の中で話が出てきたところでいきますと、一般の中で言いますと、パート別の歌唱練習ができるカラピアノは、授業の中でも使いやすいところがあるかなというような話が出ておりました。

(大塚崇行 教育長職務代理者) 器楽に関して、教科書の内容というよりは、各学校でどのように対応されているかということで伺いますが、この中ではリコーダー、ギター、琴、三味線、太鼓、篠笛、尺八というようなことが紹介されております。各学校にどのくらいそれらが用意されているのか、また、コロナ以降、楽器を共有することに対して子どもたちが敏感になっていると思っておりますが、そのあたりに関してのことを教えていただけますか。

(大木まみこ 音楽教科用図書調査研究専門部会長) 各学校で楽器の所有台数は決まっております。個人で持っているものでは、中学校ではアルトリコーダー、篠笛を個人で買わせているというようなところも最近増えてるかなというように思います。何をしなくてはいけないというところではなく、ギターに関しては、大体20台から30台程ある学校が多いかなと思います。琴に関しては、大体2人で1面を使えるぐらいの台数を揃えて、他の学校から借りたり、また講師の方を呼んだりなどをしながら行うことが多いです。

(内田みどり 委員) ギターや琴では、音の調整を行わなければいけないですし、弦の張替えなども行うと思っておりますが、それは生徒に指導なさるのでしょうか。

(大木まみこ 音楽教科用図書調査研究専門部会長) ギターに関しましては、今回の器楽の中でも二次元コードの中でギターの調弦ができるように工夫されているものもありますが、時間もかかりますので教員が行うことが多いです。琴に関しましても、最初から自分たちで柱を立てるところから始めるところもありますが、一度そのやり方がわかった後は、微調整に関しては教員の方でっております。

(西倉剛 教育長) 他に質疑、意見はございませんか。

(西倉剛 教育長) ないようですので、質疑を終了いたします。

～専門部会長 入替え～

(西倉剛 教育長) 続いて「美術」の説明をお願いします。

(興野邦孝 美術教科用図書調査研究専門部会長) 美術につきましては、3者が発行しております。これらを研究しました結果を報告いたします。

開隆堂出版株式会社は、学習指導要領の目標を受け、育成を目指す3つの資質・能力をバランスよく、生徒が意欲的に学習できるよう配慮されています。具体的には、知識及び技能の習得では、生徒作品と作家の作品がバランスよく大きく提示されており、様々な作品の技量に触れることができるようになっています。思考力、判断力、表現力等の育成では、学習を深めるための学習のポイントや発想・構想の方法、学習の進め方のヒントを必要に応じてイラストで示す工夫をしています。学びに向

かう力、人間性等では、表紙の作品に、触りたくなるような加工を施して関心を高め、中身も見てみたいと感じさせる工夫がほどこされています。

光村図書出版株式会社は、学習指導要領の目標を受け、各題材において「表現」と「鑑賞」を関連させた紙面構成となっております。具体的には、知識及び技能の習得では、用具の使い方や知識は、巻末に見やすく示されており、さらに別冊でも詳しく示されています。思考力、判断力、表現力等の育成では、表現中心の題材では、「みんなの工夫」と題し、生徒の制作過程を写真やインタビュー動画で紹介することで、生徒が自分の表現に生かしていくことができるようになっています。学びに向かう力、人間性等では、1年生の巻頭に、協働しながら撮影した写真を掲載しており、主体的・対話的な学びの姿を示しています。

日本文教出版株式会社は、学習指導要領の目標を受け、活動が主体的・対話的で深い学びへ向かうように配慮されています。具体的には、知識及び技能の習得では、本文に、知識や技能に関するキーワードが適切に盛り込まれおり、「造形的な視点」も吹き出しで示されています。思考力、判断力、表現力等の育成では、発想を引き出し、構想を深める手掛かりとなるようなアイデアスケッチや「表現のヒント」を多数掲載したり、作家の制作過程や中学生の造形活動に活用できる手立てを紹介したりしています。学びに向かう力、人間性等では、1年生の教科書の巻頭に3年間の学びが示されており、見通しをもって学習できるように配慮されています。

これで、報告を終わります。

(西倉剛 教育長) 調査研究事項について、説明いただきました。ただいまの説明につきまして、質疑・意見はございますか。

(内田みどり 委員) どの教科書も、美術の教科書だという感じで綺麗で、見るだけで面白い教科書だなと感じたところです。基本的な技術を学ぶとか、自分のアイデアを表現する方法を見つけるとか、歴史的文化もそこで学べるとかというところは感じたところです。また、教科書によっては、その教科書を使って、何を学ぶのであろうとを感じる教科書もありました。例えば多く子どもの作品が載っていれば、こういうものを作っていくのであろうというヒントになっていくと思いますが、この教科書はイメージが多くて、学びづらいなというところも感じたところなのですが、その教科書の違いについて研究されたということはございますでしょうか。

(興野邦孝 美術教科用図書調査研究専門部会長) 開隆堂出版株式会社では、作家の作品と生徒の作品とのバランスがよく様々な技量に触れられるところが特性かなと感じております。光村図書出版株式会社では、生徒の作品が数多く、全国の作品というような形でたくさんの同世代の作品に触れられるような紙面構成となっております。日本文教出版株式会社は、作家の作品、生徒の作品の他に、本文の方に生徒が読んだときに考えさせられるような工夫が施されているというような調査結果になりました。

(大塚崇行 教育長職務代理者) 美術は3者からありまして、それぞれで構成が違います。1者は2冊に分かれていますし、3冊に分かれていますし資料が入っているものもありますし、3冊でも1年と2、3年の上・下というように分かれています。この違いの部分で指導するにあたって違いが出てくるのかなというように思いましたが、その辺りの協議はございましたか。

(興野邦孝 美術教科用図書調査研究専門部会長) 2冊か3冊かによって、特に大きな指導の違いはな

いというのが協議の結果でした。必要に応じて3冊持ってくるとか、2冊持ってくるというような指示をするので、特に問題ないかと思えます。ただ光村図書出版株式会社におかれましては、1冊は知識技能に特化した資料ということなので、こちらでは知識技能面で特にピンポイントで指導しやすいというような面はあるかなということの協議が行われました。

(西倉剛 教育長) それぞれの教科書に違いがあると思いますが、見たときの写真のインパクト感というか、質感というか、少しテカテカしている写真を使っている教科書もありますし、光加減をちょっと抑えてる資料もあったかなと思いますが、その辺についての専門部会での議論はございましたでしょうか。

(興野邦孝 美術教科用図書調査研究専門部会長) 特に3者とも、使う生徒のことを考えて作られておりますので、特にどこが特出しているというようなことはないかと思えます。開隆堂出版株式会社におきましては、表紙を触ったときに、視覚ではなくて、触った感覚、触感でも子どもの関心意欲を高められる工夫がしているかなと思えます。特に2、3年生の方のゴッホの表紙の絵は子どもの興味関心が高まるかなと思えます。ただ、他の発行者におかれましては、その中で紙の質感が違うものを意図的に入れていたり、大きくて載らないものは一部だけでも原寸大の大きさを示されたりするような形で子どもたちの興味関心高められるような工夫がどの教科書においても実施されておりました。

(西倉剛 教育長) 他に質疑、意見はございませんか。

(西倉剛 教育長) ないようですので、質疑を終了いたします。ここで、午前の協議をいったん終了し、休憩いたします。再開は、午後1時10分といたします。

～休憩の間に、専門部会長 入替え～

(西倉剛 教育長) 休憩前に引き続き、会議を再開します。午前中に続きまして、残りの教科につきまして、協議を行います。続いて「保健体育」の説明をお願いします。

(根本和彦 保健体育教科用図書調査研究専門部会長) 保健体育科につきましては、4者が発行しております。これらを研究しました結果を報告いたします。

東京書籍株式会社は、主体的・対話的で深い学びの授業を創造するために、日常に即した内容を多く示しています。知識及び技能の習得について、一単位時間の流れを見開きで示し、巻末で実習等の具体的な行い方が示されています。思考力、判断力、表現力等の育成のために、発問が日常生活に生かせる内容で示しており、各ページの終わりに「活用しよう」が設けられています。ICT機器の活用については、二次元コードを読み取ることで、章末問題を確認することができます。

大日本図書株式会社は、学習指導要領の目標を受け、系統的な学習の流れを意識した構成をしています。知識及び技能の習得について、太字が強調されていて重要語句がわかりやすく示されており、章末資料を充実させることで、発展的な知識を伸ばそうとしています。思考力、判断力、表現力等の育成のために、生活に密着した発問を多く示し、章末で学習した内容をより深く理解するための課題を示しています。系統性を持たせるために、章の始めに小学校・中学校・高等学校での学習内容を示しています。

株式会社大修館書店は、学習指導要領の目標を受け、デジタル教材を充実させる構成をしています。知識及び技能の習得について、イラストやグラフでより具体的に示し、大タイトルの他に小タイトルも示しています。思考力、判断力、表現力等の育成のために、章末で「知識・技能」「思考・判断・表現」「主知的に学習に取り組む態度」の3項目に分け、学んだ知識を活用して、問題に取り組める構成となっています。ICT機器の活用については、二次元コードを読みとることで、クイズ形式の問題を示しています。

株式会社Gakkenは、主体的・対話的で深い学びの授業を創造するために、様々な学習方法を示しています。知識及び技能の習得について、身近な内容を示し、章末の「探求しようよ!」で、具体的な内容を示すことでより深い学びにつなげています。思考力、判断力、表現力等の育成のために、発見・解決・活用の統一した流れを示し、「学びを生かす」でより発展的な内容を取り上げています。主体的に学習に取り組む工夫として、ICT機器の活用により、二次元コードを読み取ることで、より豊富な情報を示しています。

これで、報告を終わります。

(西倉剛 教育長) 調査研究事項について、説明いただきました。ただいまの説明につきまして、質疑・意見はございますか。

(矢野誠二 委員) 章末やまとめの問題等についての質問ですが、問題で知識理解を確認する取組がどの教科書会社も工夫されていると思います。教科書自体に紙の部分で問題が載っていたり、二次元コードで読み取って問題をやったりというような差がありますが、実際に学校現場ではどちらの方が扱いやすいのかということについて、指導者も意見の違いもあるかとは思いますが、議論されたかどうかについて確認したいと思います。

(根本和彦 保健体育教科用図書調査研究専門部会長) それについては細かな議論はしておりません。

(矢野誠二 委員) そういった比較はされてないということですが、影響はないですか。

(根本和彦 保健体育教科用図書調査研究専門部会長) それぞれの教科書で二次元コードであるとか、章末問題としては全ての発行者のものにございますので特に問題はないかと思えます。

(内田みどり 委員) 保健の授業では、生活全般ということで、食生活の内容や、体の健康、薬物乱用、SDGsを含めてということですが、年頃の子どもに対して母親的に心配なのは性の問題についてということがあります。各教科でそれは取り上げていると思いますが、運動能力的に体差があるなかで教科書を使っただけの授業も大切になってくると思いますが、特に性の問題について発行者による違いについてどのぐらいの割合であったかということについて話し合われたところはいかがでしょうか。

(根本和彦 保健体育教科用図書調査研究専門部会長) それぞれの発行者が扱っている内容については同じように扱っていますが、図の量が多いとか、文字数が多いとか、そういうところで多少違いがあるかと思えます。

(内田みどり 委員) どの教科書を使っても、問題ないということですね。

もう一つ気になるのは、運動の面と教科書を使っただけの授業の面とがあると思いますが、最終的に成

績をつけていく中で、割合的にどちらが多いというような違いはあるのでしょうか。

(根本和彦 保健体育教科用図書調査研究専門部会長) 授業時数的には運動の時間の方が多いので、割合としては運動する方が高い割合になるかと思います。

(大塚崇行 教育長職務代理者) 感染症のところで、新型コロナウイルスに関することがあまり扱われていないというように思いました。これは100年に一度のスペイン風邪等の出来事であったと思いますが、教科書的には取り上げられていないので、その辺りのことについてありますでしょうか。

(根本和彦 保健体育教科用図書調査研究専門部会長) 新型コロナウイルスに特化してということはありませんが、感染症全体の枠としてということでの発行者も捉えられていると思います。

(谷島大 委員) 現在の上尾市の教科書は、小学校の保健と中学校の保健体育の発行者とで違う発行者のものが採択されていますが、その辺の接続などに関しては、そういった小学校と中学校とで違いがあっても問題はないのでしょうか。

(根本和彦 保健体育教科用図書調査研究専門部会長) 中学校として教える内容としては全ての発行者が学習指導要領に沿って行っていますので特に問題はないかと思います。

(西倉剛 教育長) 他に質疑、意見はございませんか。

(西倉剛 教育長) ないようですので、質疑を終了いたします。

～専門部会長 入替え～

(西倉剛 教育長) 続いて「技術・家庭」の説明をお願いします。

(須田治茂 技術・家庭教科用図書調査研究専門部会長) 技術・家庭(技術分野)につきましては、3者が発行しております。これらを研究しました結果を報告いたします。

東京書籍株式会社は、技術の原理・法則や基礎的な技術の仕組みについて本文の内容を裏付ける図などを掲載しています。問題解決の手順を表で示しています。内容毎にまとめのページが見開き1ページでつくられていて思考・判断・表現の部分についての明記があります。「技術のめがね」「最適化の窓」として技術に込められた工夫やどのように最適化されたかわかるようになっています。環境に関連する内容には「環境」マークが付いており、環境保全に寄与する態度が養われるよう配慮されています。

教育図書出版株式会社は、補助資料のスキルアシストが付いており、カラーで大きな写真と説明が掲載されて基礎的・基本的な知識及び技能の習得がされるように工夫しています。問題解決の手順をマンガ形式で提示しています。また、問題解決についてプチ問題解決という形で具体的な活動例が記載されています。内容毎にまとめページが片面1ページで作られていて思考・判断・表現の部分についての明記があります。ガイダンスのページに「中学生」「つくる人」「使う人」「環境問題に取り組む人」の立場で技術の見方・考え方を説明しています。

開隆堂出版株式会社は、各内容で共通して、社会における技術に気付き、基礎的・基本的な知識及

び技術の習得を通して、社会や環境と技術との関わりについて理解を深められるように工夫されています。問題解決の手順を図と文章で提示しています。また、キャラクターのコメントという形で深い学びにつながるようになっていきます。ガイダンスのページに項目を立てて「願い要求」、「化学的な考え方」「最適化された技術の仕組み」について製品を例示し説明しています。

これで、技術・家庭（技術分野）の報告を終わります。

技術・家庭（家庭分野）につきましては、3者が発行しております。これらを研究しました結果を報告いたします。

東京書籍株式会社は、基本ページに「まとめの活動」、各編末に「学習のまとめ」が掲載され、また「いつも確かめよう」に基礎的な技能をまとめて掲載し、基礎・基本の知識及び技能が的確に押さえられる工夫がされています。学習課題や目標が明確であり、話のキーワードも整理されています。また図や写真、二次元コードなど自己の視点や他者の視点を共有しやすくするための話し合い活動を想起する活動が充実しています。学んだことを実生活に活かすために各分野の「プロに聞く」とリンクさせることによって見方や考え方を育成するための一助となっています。

教育図書出版株式会社は、各節で自分の生活を見つめるきっかけが提示され、「見つめる」、「見つめてみよう」、「学ぶ」、「ふり返る」の流れに沿って学習することで、知識及び技能が習得できるように工夫されています。どの分野においても話し合い活動が取り入れられています。また「生活の課題と実践」では、どうしたら自分の課題と結びつくことができるのか、例示を用いながら学習が進むような構成になっています。自分の考えを止めるのではなく、どのようにしたらより快適に生活がしやすくなるのかをインタビューや資料から捉えられるようになっていきます。

開隆堂出版株式会社は、学習のまとめりに「学習のまとめ」があり、学習の自己評価ができる他、多種多様な課題が豊富に設定され、易しいものから難しいものへと知識及び技能が習得できるように工夫されています。身近なことから疑問点を想起させる課題の設定や客観的な記述がされています。そのため自己の生活課題も気づきやすく課題を考え、振り返ることができる構成となっています。自分のみならず、他者を理解するためのロールプレイや客観的な資料が随所に設定されています。そのため、自ら解決しようとする態度だけではなく、物事を見る視点が養うようになっていきます。

これで、報告を終わります。

（西倉剛 教育長）調査研究事項について、説明いただきました。ただいまの説明につきまして、質疑・意見はございますか。

（大塚崇行 教育長職務代理者）技術分野に関して、4年前のときにこれからはプログラミング教育が大切のような話があり、注目されていたと思いますが、今回はこの取り上げ方が各者ともそれほどでもない感じではありますが、その辺り何か変化というものがあったのでしょうか。

（須田治茂 技術・家庭教科用図書調査研究専門部会長）プログラミング教育の方は、以前から継続して行われているところで、全者がプログラミングの内容は扱われております。また双方向性のあるプログラミングということで、こちらからの一方的なものではなくて双方向で答えが返ってくるようなプログラミングの課題がどの発行者のものにも掲載されて扱われております。

（大塚崇行 教育長職務代理者）定着してきたというように理解しました。

（矢野誠二 委員）情報関係の内容が多いなと私は思っていて、昔との比較になってしまっていますが、

限られた授業時間数で、技術家庭科の内容はもう昔と違って多岐にわたっています。内容を見てみると小学校低学年の生活と言えるのではないかと、どちらかと言うと実生活に必要な内容が散りばめられてるというような私は印象を受けています。情報関係の内容が多いというのも、今の社会の中で必要なのはよくわかります。自分はICTが苦手で、教科書を読んでいるときに、ドメインとはこういう意味なのだとか、パケットとという言葉も聞くんだけどわからないというものがありますが、そういうものが今の中学校の教科書で学べるというような変な感動を覚えたのもつい最近です。逆に、金工や木工の部分の教科書のページ数は、そういった多岐にわたるからこそ減っているのではないかと類推しています。実際に中学校で木工室や金工室は揃っていますが、その使用頻度も減っていると思いますが、時間数的にどうなのでしょう。これだけの内容をこなすという意味で、学校現場としては、そのような課題はないのでしょうか。

(須田治茂 技術・家庭教科用図書調査研究専門部会長) 内容的に、私が教員になった頃や学生であった頃から比べると、多岐にわたっているということと、時数も以前より減っているところもありますので、その内容は精査して万遍なくやれるよう、学習指導要領に則って、授業を組み立ててやっていくという形で進めております。時数的には、以前よりも木工、金工の時間は減っているというように思います。

(小池智司 委員) 技術や家庭は実習をすることが多いと思いますが、授業日数も少ない中で、金工や木工も少なくなっているということで、教科書には二次元コードなどがついていて、映像を見られるように各発行者が載せていると思いますが、その多いとか少ないとかというような検証はされているのでしょうか。

(須田治茂 技術・家庭教科用図書調査研究専門部会長) どの発行者がいくつというところまでは、我々は調査しておりませんでした。話を進める中では、どの発行者も以前と比べて充実していて、二次元コードがどの発行者のものにもついていて、制作あるいは作業の動画等を視聴することで子ども達のイメージがわくということで、時数を調整できるというか、そこをうまく活用して組み立てていけるとよいかということについて、この話は技術科と家庭科の両方で出ております。家庭科では例えば調理実習等の動画などが取り上げられているのでそれをうまく活用していけるとよいですねという話にはなりました。

(小池智司 委員) どこの発行者を採択しても、例えば実習で補えないところは二次元コードで生徒たちが動画等を見て、イメージを湧かせるという点についてはどの発行者も遜色はなく、影響はないということですね。

(須田治茂 技術・家庭教科用図書調査研究専門部会長) その通りで、どの発行者のものも充実していますので、どの発行者のものであっても影響はないと思います。

(大塚崇行 教育長職務代理者) 家庭分野に関してですが、3者の中で、内容の順番として、2者は、最初が家庭家族、次が衣食住、最後が生活環境というような順番になっていて、1者だけが最初に家族・家庭が少しあって、衣食住になって生活の環境で、また家族に戻るとような順番になっていました。順番が違くと受ける印象も違うのではないかと感じましたので、この違いについて部会の中で話し合ったことはございますでしょうか。

(須田治茂 技術・家庭教科用図書調査研究専門部会長) 技術科も家庭科も学習指導要領に則って、3年間で全ての内容を学習していくというようなことで、各先生が各学校で、年間指導計画を3年間でできるように並び替えたりして、前から順番にやっていくというわけではなく飛び飛びで行っていくような形のところもあります。全ての内容がどの発行者も1冊に収められていますので、そのところは大丈夫かというような話もありました。

(西倉剛 教育長) 他に質疑、意見はございませんか。

(西倉剛 教育長) ないようですので、質疑を終了いたします。

～専門部会長 入替え～

(西倉剛 教育長) 続いて「外国語」の説明をお願いします。

(山田正浩 外国語教科用図書調査研究専門部会長) 外国語科につきましては、6者が発行しております。これらを研究しました結果を報告いたします。

東京書籍株式会社は、言語材料の配列について、生徒が理解しやすいようにまとまりをつけて配列されています。各単元のNew Wordsと小学校で学んだ単語が1ページ内にまとめて提示されています。物語、対話、ポスター、メール、記事、グラフを含んだ資料など多様な形式で幅広い題材があります。インプット活動の後には、コミュニケーション活動につながる発信型の練習問題があります。Activityで習得した表現を生かし、単元末のUnit Activityでは目的や場面、状況を踏まえた活動ができるよう工夫されています。全てのUnitで音から導入して文字に向かう順序で4技能を扱っています。

開隆堂出版株式会社は、Scenesで、新出表現を身に付けるためにListenやSpeak & Writeなどの活動が取り入れられています。PROGRAM4から9のTuning inには、本文の題材に関連した写真やクイズ、雑学が掲載されています。各PROGRAMで基礎的な知識を学んだ後にリテリングをする構成となっています。スピーチやディベートなどの自身の意見や考えを表現するPower-UpやOur Projectがあります。本文の内容を振り返るReview & Retellでは相手意識や目的意識をもった表現活動ができるよう工夫されています。Scenesで新しい表現が学習でき、Tuning inで題材について考え、まとめにつなげる構成になっています。

株式会社三省堂は、各LessonのScene1では、基礎的な内容の活動が取り入れられており、言語材料の習得に向けた工夫がなされています。授業の予習や復習に役立つ題材の資料動画や本文アニメーションなど生徒の自主学習に役立つデジタルコンテンツが充実しています。各LessonにあるGoal Activityにより、学んだ言語材料等を活用する機会が常に設けられています。Listenでは要点を聞き取り、Readでは必要な情報を読み取る構成となっています。Small Talkでは、身近なことについて伝え合う場面があり、Goal Activityでは目的や場面、状況に応じた自己表現活動があります。

教育出版株式会社は、Key Sentencesでは重要な文構造や新出の文法事項の典型例が提示されています。各PartにTool KitやLet's Listenがあり、新出の言語材料を扱った話すことや聞くことなどの活動が取り入れられています。各Lessonの題材に環境、キ

キャリア教育などの多様な題材が用意されています。TaskやProjectで読んだ感想や意見を表現する機会があります。即興的なやり取りを促すActivity Plusや、日常的な場面設定での表現を学習するUseful Expressionsがあります。Taskでは、話したり、書いたりする活動を通して、自分の考えなどを仲間と発表したり、共有したりできるよう工夫されています。

光村図書出版株式会社は、1年次では生徒の読み書きの負担ができるだけ少なくなるように工夫がされています。Sounds and Lettersでは発音とつづりの関係を学習し、単語や文を音読するための基礎的な内容を取り扱っています。各UnitのGoalやYou Can Do It!を通して表現力を育成する機会があります。Daily Lifeでは、学んだ表現を具体的な場面設定の中で活用する構成となっています。Let's Talk!では、即興的なやり取りの力を身に付け、You Can Do It!では、発表活動を通して話す力を高める構成となっています。各単元では、本文に加え、PartやGoalで多くの聞く活動が設定されています。

株式会社新興出版社啓林館では、教科書の学習内容が授業の流れを把握しやすい紙面構成になっています。新出の言語材料を身に付ける活動が多く、段階を踏んで学習を進めることができます。各Unitの後に、Read&ThinkやThink&Writeでまとめた英文の内容を読んだり、状況に応じた会話表現を使用したりする機会があります。Projectでは、自分が伝えたいことを英語で表現する構成になっています。また4技能を用いた言語活動を行い、Express Yourselfでは、自分の意見や感想を表現する力を高める構成になっています。Enjoy Chattingでは、即興で話し、伝え合う力を身に付けられるよう工夫されています。

これで、報告を終わります。

(西倉剛 教育長) 調査研究事項について、説明いただきました。ただいまの説明につきまして、質疑・意見はございますか。

(内田みどり 委員) 日常生活で英会話を普段から使うことがないので、なるべくでしたら英語教育を通じて日常会話ができるようになってほしいと願っているところですので、できればリアリティある日常会話を多く混ぜてほしいと感じております。その中でスピーキングやリスニングを多く取り入れてほしいのですが、その反面、受験を考えると、長文や文法や語彙なども必要であると思っています。今、上尾市では小学生から英語教育が始まっていると思いますが、その中でのカリキュラムがどのように繋がっているのか、またそれを繋げて考えているのかどうかについてお伺いしたいと思います。

(山田正浩 外国語教科用図書調査研究専門部会長) どの発行者も文法配列は配慮してあります。既習事項であっても、未習事項であっても、既習事項から繋がるように、または、わかりやすいように、肯定文、否定文、疑問文、疑問詞を使った文と、どの発行者も配慮して配列していると思います。

(内田みどり 委員) 小学校でやっているものが続けて授業の流れ的に含まれているのか、それとも中学校は中学校でカリキュラムが組んでいるから、特に別に流れは必要ないのかというところを改めて伺います。

(山田正浩 外国語教科用図書調査研究専門部会長) 小学校と繋がっております。また、繋がっていないように思われても、そこは教師がフォローしながら、授業の方は運営されております。

(大塚崇行 教育長職務代理者) 英語の習得では、聞く、話す、読む、書くという4技能がそれぞれ大切であるということになると思います。また、時代としては英会話を伸ばしていこうという流れがあると思いますが、その中で書くことが少なくなってきているのかなというようにも思っておりまして、それぞれその4技能を伸ばしていかななくてはいけないということになるのですが、その4技能について各発行者のバランスについて特徴的なところがあったのか、お伺いできればと思います。

(山田正浩 外国語教科用図書調査研究専門部会長) 4技能のバランスについては、各発行者ともバランスよく含まれております。英会話についても、本市ではALTを各校に配属していただきまして、教科書で学んだことを活用して、授業は運営されていると思います。

(西倉剛 教育長) 各発行者によって1年生の導入のところで、小学校の英語学習や英語活動等との引継ぎを丁寧に扱っているところと、それほど丁寧に扱っている感じではないかなという印象を受けるところとがありますが、その違いについては専門部会ではどんな議論になりましたでしょうか。

(山田正浩 外国語教科用図書調査研究専門部会長) 専門部会の方でも、そのことについては話題になりました。小・中連携という観点では、全ての教科書がスタートの部分である中学校1年生に上がった段階で、全て復習事項から入っております。ですので、その学校の実態に応じて、各教員が補助資料を用意したりして、賄っていくかと思えます。確かに差は少しあるというような議論がされました。

(西倉剛 教育長) 続いて、これもどの発行者からも感じたことですが、二次元コードによる様々なコンテンツが充実しているなというように思いましたが、そのコンテンツの使い方については、それぞれの発行者でそれぞれ特色があって、それがどうということではありませんが、授業をしていく上で、どのような形であると使いやすいなというような専門部会での議論になりましたでしょうか。

(山田正浩 外国語教科用図書調査研究専門部会長) 特段、専門部会ではそのことについて議論はされませんでしたでしたが、1人1台端末が当たり前になっておりますので、二次元コードを端末で読み取ってやっていくということは当然のことであると思っております。ですからコンテンツの充実ということに関しては、今までによりもずっとコンテンツが充実しているので、この後の教科書については期待できるなと感じております。

(西倉剛 教育長) 他に質疑、意見はございませんか。

(西倉剛 教育長) ないようですので、質疑を終了いたします。

～専門部会長 入替え～

(西倉剛 教育長) 続いて「道徳」の説明をお願いします。

(中島晴美 道徳教科用図書調査研究専門部会長) 道徳科につきましては、7者が発行しております。これらを研究しました結果を報告いたします。

東京書籍株式会社は、学習指導要領の目標を受け、「いじめ・命」についてはUnitで扱い、多面的・多角的に考えを深めさせることができます。現代的な課題については「いじめ」「キャリア教

育」「自然・環境」など多様なテーマを取り上げています。深く考えさせる工夫で「コラムPlus」で役割演技などの表現活動を取り入れており、「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫としては「道徳科とは」で道徳の時間の学び方を示している。その他付録に「道徳×SDGs」「心情円」等がっています。

教育出版株式会社は、学習指導要領の目標を受け、本教材30と補助教材5で構成されています。現代的な課題について、「生命の尊さ、いじめ・人権」など、7つのテーマを取り上げ、いじめ、共存、生命に関してはパック教材として扱っています。深く考える工夫として、重要テーマに関連する教材では、社会の実態や調査の結果などが掲載されています。「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫として、役割演技を通して内容項目について考える学習方法の手順が提示されています。

光村図書出版株式会社は、学習指導要領の目標を受け、教材をテーマごとのユニットに分けています。「考えよう」等を活用し、目標に関連付けながら、授業展開できるようになっています。現代的な課題については、「SDGs」「情報モラル」、「人権」、「選挙」など多様な教材を掲載しています。いじめに関する教材の内容が日常生活に起こり得る身近なものとなっています。深く考える工夫として、「自分に問う」「友達と問いつく」「生き方を問う」という学び方が提示されています。「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫として、「話し合いを活性化する思考ツール」の使用方法が紹介されています。

日本文教出版株式会社は、学習指導要領の目標を受け、「どんなことをするの？」で道徳科の目標について具体例を挙げながら示しています。現代的な課題について、いじめに関するUnitが学期に1回設定されています。情報モラル、SDGs、人権、戦争体験教材も取り上げられています。深く考える工夫として「視野を広げて」で話し合いの手順が記載されており、「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫では、役割演技、思考ツールを使った話し合い活動の学習方法の手順が提示されています。その他、二次元コードが大変充実していたり道徳ノートが付録でついていたります。

株式会社Gakkenは、学習指導要領の目標を受け、教材を13のテーマや22の鍵として提示し、「道徳科で学ぶこと考えること」で、道徳科の目標を示しています。現代的な課題は、「キャリア」、「多様性」、「SDGs」をユニットで扱っています。深く考える工夫については「深めよう」で、振り返りや生き方を考える際のポイントを押さえた記述があります。「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫として、役割演技を通して内容項目について考える学習方法の手順も提示されています。また、クローズアップで思考を深める資料やニュースが提示されています。

あかつき教育図書株式会社は、学習指導要領の目標を受け、道徳の4つの領域に分類し、10のテーマで構成されています。現代的な課題として、いじめ、情報モラル、共に生きる社会、キャリアを挙げユニットで構成しています。深く考える工夫として、教材の最後に「いろいろな見方で考える」、「考えを深める」という発問が用意されています。「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫では、「マイプラス」のページがあり、教材を補ったり、話し合ったり、役割演技をしたりしながら、考えを深めることができます。

日本教科書株式会社は、学習指導要領の目標を受け、道徳の4つの領域に分類し、8つのテーマで構成しています。現代的な課題として「いじめ・人権」、「キャリア形成」、「情報」、「国際」、「環境」など8つのテーマとして挙げています。深く考える工夫として、生徒が体験したことがあるであろう事象の教材が用意されています。「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫では、ウェルビーイングカードを活用し、話し合うことで自分ごととして考えた上に、多面的・多角的な考えに触れることができます。

これで、報告を終わります。

（西倉剛 教育長） 調査研究事項について、説明いただきました。ただいまの説明につきまして、質疑・意見はございますか。

（谷島大 委員） 各教科書を拝見しますと、いろいろな教材が載っていて、共通したのもあったりもしますが、昔からよく見慣れた話が多い教科書と、最近の話題であったり人物だったり、あるいは漫画であったり、そういったものを多く扱っている教科書があります。それが、子どもたちの興味の引き方とかで違うのかなと感じますが、その辺はどのように研究されましたでしょうか。

（中島晴美 道徳教科用図書調査研究専門部会長） その辺も専門部会で研究させていただきました。まず生徒が興味を持てるように取り上げている人物が過去の人物が多いのか、それとも生徒が興味を持つ人物が多いのかというところで分析させていただいております。そのことについて研究資料に上げさせていただいております。

（谷島大 委員） 続いて、日本文教出版株式会社の教科書には道徳ノートというものがついています。他の発行者のものにはそれがありませんが、その辺の違いで、授業を進めるにあたって差はないのかなというように感じますが、その件についてはいかがでしょうか。

（中島晴美 道徳教科用図書調査研究専門部会長） このノートにつきましては、子どもたちはポートフォリオとして、1人1台端末に記録するなどの工夫がされておりますので、なくても大丈夫です。でも、あった場合には、これが自分の手元に残りますので、そういう活用も将来的に活用もできますよねという話になりました。

（内田みどり 委員） どの道徳の教科書も内容的によいものを取り上げているなど感じたところですが、教科書によってタイトルにも既にいじめなどの分野が分かれているものと、抽象的なものがあります。このところで考えてしまうのが、教育的な面を考えると、より具体的にあげた方が生徒たちから見てわかりやすいのか、それとも抽象的にあげた方がよいのかというところの判断については何かございますでしょうか。

（中島晴美 道徳教科用図書調査研究専門部会長） 両者によいところがあると思います。端的に書かれているとそこに議論が集中しますし、若手の教員の担当になりますと、議論がぶれないという良さがあります。抽象度が大きいと議論が広がりますし、深い学びになると思いますが、ただそれには教師の力量も必要です。教材研究も必要です。ただ広いものにした場合には、その発行者では最後のところのコラムや発問のところを工夫をされ、事項に戻るような発問をされていたかと思えます。

（内田みどり 委員） 道徳教育も評価をするようになってきたと思いますが、どのような形で評価をしているのか、こういうポイントでとか、ペーパーテストを行っているのかということについてもわかりませんので、その件についてお伺いさせていただきます。

（中島晴美 道徳教科用図書調査研究専門部会長） 道徳の評価につきましては、表記型の評価になっております。生徒の考えや思考の姿を表記していきます。例えば授業中の発言でこのようなことを言っ

ていたというような事実を表記しています。

(西倉剛 教育長) 各発行者によって道徳に関しては特徴に違いがあるなというように思いましたが、谷島委員からもありましたが、古典的な題材が重視されてる教科書もあれば、そういうのがほぼ見られないものもあるということについての扱上の差異というのはございますでしょうか。

(中島晴美 道徳教科用図書調査研究専門部会長) そこは専門部会でも、私達は驚いたところでございました。その中でバランスは大切だよねという話になりまして、古いけれども良いものというものは残していきたいですし、そこだけに執着せず、新しい考えや新しい見方、生徒の興味関心を引くものをバランスよく入っている方がよいなというように私達の方で分析させていただきました。

(西倉剛 教育長) 続いて、例えば、教育出版株式会社では各資料の見出しのところに導入として生徒に聞く言葉が記載されていたと思います。日本文教出版株式会社では資料の最初にその作品の主人公や関係者の絵が出てきていたかと思います。株式会社 G a k k e n では資料の中身の肝となる言葉や状況が説明されていて、それがアプローチの最初のところに出てきていたと思いますが、その辺の扱いの違いなどについては、どのような議論があったのか教えていただけますか。

(中島晴美 道徳教科用図書調査研究専門部会長) はじめの言葉は、第一インパクトを与える重要な言葉だと考えておりまして、部会員もそこに注目して分析させていただきました。あまり内容がパンと書いてあるのは、あまり議論が広がらず、「なんだ、今日はこういうことか」と終わってしまう可能性がありますので、なるべく避けたいなというところがありました。そして、日本文教出版株式会社で主人公などが登場しているのは、どの子にも平等にその資料というのを1回で渡さなくてははいけませんので、その資料がすぐに理解できるような補助としては有効であるというように考えました。

(西倉剛 教育長) 他に質疑、意見はございませんか。

(西倉剛 教育長) ないようですので、質疑を終了いたします。

～専門部会長 退室～

(瀧澤誠 学校教育部長) 以上をもちまして、説明を終わります。

(西倉剛 教育長) これより教科書選定の投票を行います。投票は、これからお配りする投票用紙により行います。投票用紙には、採択すべきと考える教科用図書の第1位と第2位をご記入いただきます。第1位の教科用図書の右側のワクに「◎」、第2位の教科用図書の右側のワクに「○」をご記入ください。第1位を2点、第2位を1点で集計し、委員の皆様のご意見を集約した採択すべき教科用図書を選定したいと存じます。事務局は、投票用紙の配布等の準備をお願いします。

～事務局が机に、パーテーションを設置、投票用紙を配付～

(西倉剛 教育長) 投票箱の確認をお願いします。

～教育長及び委員の投票箱の確認～

(西倉剛 教育長) 異常なしと認めます。それでは、委員の皆様は、記入が終わりましたら、順次、投票箱へお進みいただき、投票をお願いいたします。

～教育長及び委員の投票～

(西倉剛 教育長) 投票が終了しましたので、事務局は開票及び集計をお願いします。

～事務局が開票、集計～

(西倉剛 教育長) 集計が終わりましたので「国語」から順に、それぞれ第1位、第2位を報告します。「国語」、1位が「光村図書出版株式会社」12点、2位が「株式会社三省堂」4点。「書写」、1位が「光村図書出版株式会社」12点、2位が「株式会社三省堂」4点。「社会（地理的分野）」、1位が「東京書籍株式会社」12点、2位が「株式会社帝国書院」6点。「社会（歴史的分野）」、1位が「東京書籍株式会社」12点、2位が「株式会社帝国書院」5点。「社会（公民的分野）」、1位が「東京書籍株式会社」12点、2位が「株式会社帝国書院」6点。「社会（地図）」、1位が「株式会社帝国書院」12点、2位が「東京書籍株式会社」6点。「数学」、1位が「株式会社新興出版社啓林館」9点、2位が「東京書籍株式会社」8点。「理科」、1位が「教育出版株式会社」10点、2位「東京書籍株式会社」7点。「音楽（一般）」、1位が「株式会社教育芸術社」12点、2位が「教育出版株式会社」6点。「音楽（器楽合奏）」、1位が、「株式会社教育芸術社」12点、2位が「教育出版株式会社」6点。「美術」、1位が「日本文教出版株式会社」10点、2位が「開隆堂出版株式会社」8点。「保健体育」、1位が、「株式会社大修館書店」9点、2位が「株式会社Gakken」8点。「技術・家庭（技術分野）」、1位が「開隆堂出版株式会社」12点、2位が「東京書籍株式会社」5点。「技術・家庭（家庭分野）」、1位が「開隆堂出版株式会社」12点、2位が「東京書籍株式会社」5点。「英語」、1位が「開隆堂出版株式会社」12点、2位が「東京書籍株式会社」4点。「道徳」、1位が「株式会社Gakken」12点、2位が「日本文教出版株式会社」5点。

以上が、令和7年度使用中学校教科用図書の得点結果となります。それではこの後、議案の審議の準備を行うため、ここで暫時休憩を取らせていただきます。再開は、20分後の午後2時50分といたします。

～休憩～

日程第4 議案の審議

(西倉剛 教育長) 休憩前に引き続き会議を再開します。「日程第4 議案の審議」でございます。皆

様のご意見を集約いたしました議案第52号が提出されました。「議案第52号 令和7年度使用中学校教科用図書の採択について」説明をお願いします。

(瀧澤誠 学校教育部長) 議案第52号につきましては、武田指導課長より、ご説明申し上げます。

(武田直美 指導課長) 「議案第52号 令和7年度使用中学校教科用図書の採択について」説明致します。令和7年度から上尾市立中学校において使用する教科用図書について、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第13条第1項の規定により採択をしたいので、この案を提出致します。「国語」、「光村図書出版株式会社」。「書写」、「光村図書出版株式会社」。「社会(地理的分野)」、「東京書籍株式会社」。「社会(歴史的分野)」、「東京書籍株式会社」。「社会(公民的分野)」、「東京書籍株式会社」。「地図」、「株式会社帝国書院」。「数学」、「株式会社新興出版社啓林館」。「理科」、「教育出版株式会社」。「音楽(一般)」、「株式会社教育芸術社」。「音楽(器楽合奏)」、「株式会社教育芸術社」。「美術」、「日本文教出版株式会社」。「保健体育」、「株式会社大修館書店」。「技術・家庭(技術分野)」、「開隆堂出版株式会社」。「技術・家庭(家庭分野)」、「開隆堂出版株式会社」。「英語」、「開隆堂出版株式会社」。「道徳」、「株式会社Gakken」。以上でございます。よろしくお願いいたします。

(西倉剛 教育長) 議案第52号につきまして、説明いただきましたが、質疑、意見はございますか。

(西倉剛 教育長) 特にございませんでしょうか。

~委員全員から「はい」の声~

(西倉剛 教育長) ないようですので、これより採決いたします。「議案第52号 令和7年度使用中学校教科用図書の採択について」原案のとおり可決することにご異議はございませんか。

~委員全員から「異議なし」の声~

(西倉剛 教育長) 異議ないものと認め、原案のとおり、可決いたしました。なお、この採択結果を、埼玉県教育委員会へ報告いたします。

日程第5 閉会の宣告

(西倉剛 教育長) 以上で、予定されていた日程は全て終了いたしました。これをもちまして、令和6年上尾市教育委員会第3回臨時会を閉会いたします。お疲れさまでございました。

令和6年9月27日 署名委員 谷島 大